

令和7年度
事業報告書

学校法人 久留米大学

目 次

1 法人の概要	
(1) 基本情報	1
(2) 建学の精神、理念	1
(3) 沿革	1
(4) 設置する学校・学部・学科等	4
(5) 学生生徒数の状況	5
(6) 収容定員充足率	8
(7) 役員・大学役職者の概要	11
(8) 評議員の概要	14
(9) 会計監査人の概要	16
(10) 理事選任機関の概要	16
(11) 教職員の概要等	17
2 事業の概要	
(1) 事業の概要	18
(2) 久留米大学将来構想に係る活動状況	19
(3) 事業計画等に係る進捗状況並びに教育、研究、診療 及び社会貢献・地域連携に係る諸活動	20
(4) 管理・運営に係る諸活動	30
3 学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の 整備及び運用状況の概要	
(1) 関係する決議の概要	33
(2) 体制整備及び運用状況の概要	33

4 財務の概要

(1) 決算の概要34
(2) その他39
(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、 今後の方針・対応策等41

1 法人の概要

(1) 基本情報

①法人の名称	学校法人 久留米大学
②所在地	福岡県久留米市旭町67番地
電話番号	0942(35)3311
ファックス番号	0942(27)8712
ホームページアドレス	https://www.kurume-u.ac.jp/

(2) 建学の精神、理念

○建学の精神

国手の矜持（ほこり）は常に仁なり

○基本理念

真理と正義を探究し、人間愛と人間尊重を希求して、高い理想をもった人間性豊かな実践的人材の育成を目指すとともに、地域文化に光を与え、その輝きを世界に伝え、人類の平和に貢献することを使命とする。

(3) 沿革

○沿革／学校の部

昭和3年	2月	専門学校令による九州医学専門学校を設置
同	4月	附属病院を開院
昭和14年	3月	九州医学専門学校に5年制の課程を設置
昭和17年	9月	九州医学専門学校（4年制）を廃止
昭和18年	2月	九州医学専門学校5年制課程を九州高等医学専門学校に改称
昭和21年	3月	大学令による久留米医科大学及び同予科を設置
同	5月	久留米医科大学予科第2学年を編成
昭和23年	2月	久留米医科大学学部を開設
昭和25年	2月	教育基本法及び学校教育法による久留米大学を設置し商学部商学科を開設
同	2月	久留米大学附設高等学校を設置
昭和26年	3月	久留米医科大学予科を廃止
昭和27年	2月	久留米大学医学部を開設
同	12月	九州高等医学専門学校を廃止
昭和29年	9月	学位令による久留米医科大学学位授与を施行
昭和30年	1月	久留米大学医学部に医学進学課程を開設
昭和31年	3月	久留米大学大学院を設置し医学研究科博士課程を開設
昭和36年	3月	久留米医科大学を廃止
昭和41年	3月	久留米大学医学部附属高等看護学校を設置
昭和43年	2月	久留米大学医学部附属衛生検査技師学校を設置
昭和44年	4月	久留米大学附設中学校を設置
昭和47年	4月	久留米大学医学部附属衛生検査技師学校を久留米大学医学部附属臨床検査技師学校に校名変更
昭和48年	4月	久留米大学医学部附属高等看護学校に二部（夜間課程）を併設
昭和50年	4月	久留米大学商学部に経済学科を増設

昭和51年	6月	久留米大学医学部附属高等看護学校を久留米大学医学部附属看護専門学校に校名変更
同	6月	久留米大学医学部附属臨床検査技師学校を久留米大学医学部附属臨床検査専門学校に校名変更
昭和59年	4月	久留米大学コンピュータ教育センターを設置
昭和62年	2月	久留米大学比較文化研究所を設置
同	3月	久留米大学医学部附属看護専門学校二部（夜間課程）を廃止
同	4月	久留米大学法学部法律学科を開設
平成元年	4月	久留米大学分子生命科学研究所を設置
同	4月	久留米大学大学院比較文化研究科修士課程を開設
平成3年	4月	久留米大学大学院比較文化研究科博士課程を開設
平成4年	3月	久留米大学医学部進学課程を廃止
同	4月	久留米大学文学部人間科学科・国際文化学科を開設
同	4月	久留米大学保健体育センターを設置
平成5年	4月	久留米大学外国語教育研究所を設置
平成6年	4月	久留米大学法学部に国際政治学科を増設
同	4月	久留米大学商学部経済学科を久留米大学経済学部経済学科に改組転換
同	4月	久留米大学医学部に看護学科を増設
同	7月	久留米大学医学部附属医療センターを開院
平成8年	4月	久留米大学文学専攻科、法学専攻科、商学専攻科を設置
平成9年	1月	久留米大学先端癌治療研究センターを設置
同	3月	久留米大学医学部附属看護専門学校を廃止
平成10年	4月	久留米大学経済学専攻科を設置
同	6月	久留米大学循環器病研究所を設置
平成11年	4月	久留米大学留学生別科を設置
平成12年	4月	久留米大学文学部に社会福祉学科を増設
同	4月	久留米大学コンピュータ教育センターを久留米大学情報教育センターに名称変更
同	4月	久留米大学保健体育センターを久留米大学健康・スポーツ科学センターに名称変更
平成13年	4月	久留米大学大学院心理学研究科を開設
同	4月	久留米大学大学院医学研究科修士課程を開設
平成14年	1月	久留米大学国際交流センターを設置
同	4月	久留米大学文学部人間科学科を久留米大学文学部心理学科及び情報社会学科に改組転換
同	4月	久留米大学経済学部に文化経済学科を増設
同	4月	久留米大学高次脳疾患研究所を設置
平成15年	4月	久留米大学知的財産本部を設置
同	10月	久留米大学バイオ統計センターを設置
平成16年	4月	久留米大学法科大学院法務研究科を設置
同	4月	久留米大学教育・学習支援センターを設置
平成17年	4月	久留米大学大学院ビジネス研究科を開設
同	8月	久留米大学ビジネス研究所を設置
同	11月	久留米大学産学官連携戦略本部を設置
平成20年	4月	久留米大学認定看護師教育センターを設置
平成21年	4月	久留米大学臨床試験センターを設置
平成22年	1月	久留米大学皮膚細胞生物学研究所を設置
同	4月	久留米大学経済社会研究所を設置
平成25年	4月	久留米大学知的財産本部を廃止し久留米大学産学官連携戦略本部に統合
同	4月	久留米大学がんワクチンセンターを設置
平成26年	7月	久留米大学地域連携センターを設置
平成27年	4月	久留米大学臨床試験センターを廃止し、久留米大学医学部附属病院臨床試験センターに改組
同	4月	久留米大学保健管理センターを設置
同	8月	久留米大学IR室を設置
同	12月	久留米大学臨床研究支援機構を設立
平成28年	4月	久留米大学学生支援室を設置
平成29年	4月	久留米大学人間健康学部総合子ども学科・スポーツ医科学科を開設
同	4月	久留米大学臨床研究支援センターを設置
平成30年	3月	久留米大学法科大学院法務研究科を廃止
同	4月	久留米大学産学官連携戦略本部を廃止し、久留米大学研究推進戦略センターに改組
平成31年	4月	久留米大学教育・学習支援センターを久留米大学基盤教育研究センターに改編
同	4月	久留米大学臨床研究支援センターを廃止し、久留米大学医学部附属病院臨床研究センターに改組

平成 31 年	4 月	久留米大学アドミッションオフィスを設置
令和 2 年	3 月	久留米大学がんワクチンセンターを廃止
令和 3 年	3 月	久留米大学健康・スポーツ科学センターを廃止
令和 3 年	4 月	久留米大学保健管理センターを附置センター化
令和 6 年	4 月	久留米大学医学部に医療検査学科を増設
令和 8 年	3 月	久留米大学医学部附属臨床検査専門学校を廃止

○沿革／法人の部

昭和 3 年	2 月	財団法人九州医学専門学校を設立
昭和 18 年	8 月	財団法人九州高等医学専門学校に変更
昭和 21 年	3 月	財団法人久留米医科大学に変更
昭和 25 年	3 月	財団法人久留米大学に変更
昭和 26 年	3 月	学校法人久留米大学に変更し現在に至る

(4) 設置する学校・学部・学科等

○大学院

比較文化研究科
心理学研究科
ビジネス研究科
医学研究科

○学部・学科等

文学部

心理学科、情報社会学科、国際文化学科、社会福祉学科
文学専攻科

人間健康学部

総合子ども学科
スポーツ医科学科

法学部

法律学科、国際政治学科
法学専攻科

経済学部

経済学科、文化経済学科
経済学専攻科

商学部

商学科
商学専攻科

医学部

医学科、看護学科、医療検査学科
留学生別科

○学校等

附設中学校
附設高等学校
医学部附属臨床検査専門学校

○附属研究所等

情報教育センター、比較文化研究所、分子生命科学研究所、外国語教育研究所、先端癌治療研究センター、循環器病研究所、高次脳疾患研究所、バイオ統計センター、ビジネス研究所、認定看護師教育センター、皮膚細胞生物学研究所、経済社会研究所、保健管理センター

○附属病院

医学部附属病院、医学部附属医療センター

(5) 学生生徒数の状況 (令和7年5月1日現在)

区 分		収容定員 () 入学定員	在 学 生 数() 入学者数			
			令和 5. 5. 1	令和 6. 5. 1	令和 7. 5. 1	
大 学 院	比 較 文 化 研 究 科	前 期 博 士	60(30)	8(4)	8(3)	5(2)
		後 期 博 士	36(12)	13(0)	6(0)	2(0)
	心 理 学 科 研 究 科	前 期 博 士	40(20)	25(12)	21(7)	16(8)
		後 期 博 士	15(5)	2(0)	1(0)	2(2)
	ビ ジ ネ ス 研 究 科	修 士 課 程	24(12)	8(4)	9(4)	7(1)
	医 学 科 研 究 科	修 士 課 程	62(31)	58(21)	52(20)	41(18)
		博 士 課 程	140(35)	103(15)	104(21)	104(18)
	大 学 院 計			377(145)	217(56)	201(55)
専 攻 科	文 学 専 攻 科	心 理 学 専 攻	5(5)	0(0)	1(1)	0(0)
		国 際 文 化 専 攻	5(5)	0(0)	0(0)	0(0)
		社 会 福 祉 専 攻	5(5)	0(0)	0(0)	0(0)
		情 報 社 会 学 専 攻	5(5)	0(0)	0(0)	0(0)
	法 学 専 攻 科	法 律 学 専 攻	10(10)	0(0)	0(0)	0(0)
		国 際 政 治 学 専 攻	5(5)	0(0)	0(0)	0(0)
	経 済 学 専 攻 科	経 済 学 専 攻	10(10)	0(0)	0(0)	0(0)
	商 学 専 攻 科	商 学 専 攻	10(10)	0(0)	0(0)	0(0)
専 攻 科 計			55(55)	0(0)	1(1)	0(0)

(注) 1 医学研究科博士課程については、令和5年度から秋期入学試験を実施している。
令和7年度入学者数に、令和6年度秋期入学者数は含まない。

区		分	収容定員 () 入学定員	在 学 生 数 () 入 学 者 数		
				令和 5. 5. 1	令和 6. 5. 1	令和 7. 5. 1
大 学	文 学 部	心 理 学 科	350 (87)	369 (96)	381 (107)	407 (113)
		情 報 社 会 学 科	218 (54)	223 (57)	214 (50)	222 (68)
		国 際 文 化 学 科	428 (106)	467 (111)	480 (141)	511 (148)
		社 会 福 祉 学 科	210 (52)	221 (58)	212 (46)	227 (65)
	人 間 健 康 学 部	総 合 子 ど も 学 科	200 (50)	211 (57)	210 (49)	207 (56)
		ス ポ ー ツ 医 学 科	280 (70)	328 (96)	314 (79)	327 (79)
	法 学 部	法 律 学 科	1, 184 (294)	1, 246 (289)	1, 178 (268)	1, 178 (322)
		国 際 政 治 学 科				
	経 済 学 部	経 済 学 科	1, 036 (257)	1, 133 (292)	1, 151 (309)	1, 208 (348)
		文 化 経 済 学 科				
	商 学 部	商 学 科	1, 000 (250)	1, 082 (284)	1, 119 (316)	1, 164 (320)
	医 学 部	医 学 科	689 (114)	739 (116)	745 (116)	736 (115)
		看 護 学 科	440 (110)	470 (119)	473 (120)	491 (130)
医 療 検 査 学 科		148 (74)		77 (77)	160 (85)	
大 学 計			6, 183 (1, 518)	6, 489 (1, 575)	6, 554 (1, 678)	6, 838 (1, 849)
留 学 生 別 科			55 (35)	23 (6)	31 (10)	32 (9)
専 門 学 校	臨 床 検 査 専 門 学 校		40 (0)	128 (33)	73 (0)	32 (0)
高 ・ 中 校	附 設 高 等 学 校		600 (200)	621 (205)	619 (211)	614 (207)
	附 設 中 学 校		480 (160)	493 (166)	491 (171)	491 (169)
合 計			7, 830 (2, 113)	7, 971 (2, 041)	7, 970 (2, 126)	8, 184 (2, 283)

区		分	定 員	在 学 生 数 () 入 学 者 数		
				令和 5. 5. 1	令和 6. 5. 1	令和 7. 5. 1
認 定 看 護 師 教 育 セ ン タ ー	認 定 看 護 師 教 育 課 程	が ん 薬 物 療 法 看 護	20	18 (17)	13 (13)	7 (7)
		緩 和 ケ ア	30	30 (30)	32 (32)	30 (30)
		が ん 放 射 線 療 法 看 護	10	9 (9)	9 (9)	7 (7)
合 計			60	57 (56)	54 (54)	44 (44)

- (注) 1 収容定員については、留学生定員・編入学定員を、入学定員については、留学生定員を含む。
- 2 収容定員及び入学定員は令和7年度のものに記載。
- 3 各学部の留学生及び編入学定員は、下表のとおりである。

学 部	学 科	留 学 生 定 員	編 入 学 定 員
文 学 部	心 理 学 科	2 (8)	1 (2)
	情 報 社 会 学 科	2 (8)	1 (2)
	国 際 文 化 学 科	4 (1 6)	2 (4)
	社 会 福 祉 学 科	—	1 (2)
法 学 部	法 律 学 科	4 (1 6)	4 (8)
	国 際 政 治 学 科	4 (1 6)	0 (0)
経 済 学 部	経 済 学 科	5 (2 0)	2 (4)
	文 化 経 済 学 科	4 (1 6)	2 (4)
商 学 部	商 学 科	1 0 (4 0)	0 (0)

※()内は、収容定員を示す。

- 4 令和6年度より医学部医療検査学科を開設。
- 5 令和6年度より臨床検査専門学校は学生募集を停止。

(6) 収容定員充足率

区		分	収容定員 ()入学定員	収容定員充足率				
				令和3.5.1	令和4.5.1	令和5.5.1	令和6.5.1	令和7.5.1
大学院	比較文化 研究科	前期博士	60 (30)	0.33	0.28	0.13	0.13	0.08
		後期博士	36 (12)	0.61	0.61	0.36	0.17	0.06
	心理学 研究科	前期博士	40 (20)	0.50	0.50	0.63	0.53	0.40
		後期博士	15 (5)	0.13	0.13	0.13	0.07	0.13
	ビジネス 研究科	修士課程	24 (12)	0.29	0.38	0.33	0.38	0.29
	医 学 研究科	修士課程	62 (31)	1.00	1.06	0.94	0.84	0.66
		博士課程	140 (35)	0.86	0.82	0.74	0.74	0.74
大 学 院 計			377 (145)	0.67	0.67	0.58	0.53	0.47
専攻科	文学専攻科	心理学 専攻	5 (5)	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00
		国際文化 専攻	5 (5)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		社会福祉 専攻	5 (5)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		情報社会 学専攻	5 (5)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	法学専攻科	法律学 専攻	10 (10)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		国際政治 学専攻	5 (5)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	経済学専攻科	経済学 専攻	10 (10)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	商学専攻科	商学専攻	10 (10)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
専 攻 科 計			55 (55)	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00

区		分	収容定員 ()入学定員	収容定員充足率				
				令和3.5.1	令和4.5.1	令和5.5.1	令和6.5.1	令和7.5.1
大 学	文 学 部	心 理 学 科	350(87)	1.08	1.09	1.05	1.09	1.16
		情 報 社 会 学 科	218(54)	1.11	1.04	1.02	0.98	1.02
		国 際 文 化 学 科	428(106)	1.13	1.11	1.09	1.12	1.19
		社 会 福 祉 学 科	210(52)	1.06	1.08	1.05	1.01	1.08
	人 間 健 康 部	総 合 子 ども 学 科	200(50)	1.06	1.06	1.06	1.05	1.04
		ス ポ ー ツ 医 学 学 科	280(70)	1.17	1.14	1.17	1.12	1.17
	法 学 部	法 律 学 科	1,184(294)	1.13	1.08	1.05	0.99	0.99
		国 際 政 治 学 科						
	経 済 学 部	経 済 学 科	1,036(257)	1.12	1.09	1.09	1.11	1.17
		文 化 経 済 学 科						
	商 学 部	商 学 学 科	1,000(250)	1.12	1.08	1.08	1.12	1.16
	医 学 部	医 学 学 科	689(114)	1.04	1.05	1.07	1.08	1.07
		看 護 学 科	440(110)	1.07	1.07	1.07	1.08	1.12
		医 療 検 査 学 科	148(74)				1.04	1.08
大 学 計			6,183(1,518)	1.10	1.08	1.08	1.07	1.11
留 学 生 別 科			55(35)	0.15	0.80	0.42	0.56	0.58
専 門 学 校	臨 床 検 査 専 門 学 校		40(0)	1.13	1.07	1.07	0.91	0.80
高・中 校	附 設 高 等 学 校		600(200)	1.01	1.03	1.04	1.03	1.02
	附 設 中 学 校		480(160)	1.01	1.02	1.03	1.02	1.02

区		分	定 員	収容定員充足率				
				令和3.5.1	令和4.5.1	令和5.5.1	令和6.5.1	令和7.5.1
認 定 看 護 師 教 育 セ ン ター	認 定 看 護 師 教 育 課 程	が ん 薬 物 療 法 看 護	20	0.47	0.55	0.90	0.65	0.30
		緩 和 ケ ア	30	0.80	1.00	1.00	1.07	1.00
		が ん 放 射 線 療 法 看 護	10	0.10	0.40	0.90	0.90	0.70
合 計			60	0.46	0.75	0.95	0.90	0.72

- (注) 1 収容定員については、留学生定員・編入学定員を、入学定員については、留学生定員を含むものとする。
- 2 収容定員及び入学定員は令和7年度のもを記載。
- 3 各学部の留学生及び編入学の収容定員充足率は、下表のとおりである。

学 部	学 科	留 学 生	編 入 学
文 学 部	心 理 学 科	0.00	0.00
	情報社会学科	0.38	0.00
	国際文化学科	0.50	0.00
	社会福祉学科	0.00	0.00
法 学 部	法 律 学 科	0.25	0.06
	国際政治学科	0.56	0.00
経 済 学 部	経 済 学 科	0.30	0.38
	文化経済学科	0.06	0.63
商 学 部	商 学 科	0.40	0.00

- 4 令和6年度より医学部医療検査学科を開設。
- 5 令和6年度より臨床検査専門学校は学生募集を停止。

(7) 役員・大学役職者の概要 令和7年度定時評議員会終結後
(令和7年度定時評議員会開催日:令和7年6月13日)

役員

【定員数】

○理事 定数 14名以上16名以内 現員 15名

○監事 定数 3名 現員 3名

役職	氏名	就任年月日	勤務形態	業務執行区分	外部役員	主な現職
理事長	永田 見生	H21. 4. 1	常勤	業務執行	—	H29.1 理事長就任
常務理事	安倍 等思	R 7. 3. 31	〃	〃	—	R 7. 3 常務理事就任
理事	北川 桂二	R 7. 1. 1	〃	非業務執行	○	
〃	高木 一希	R 5. 6. 28	〃	〃	—	
〃	内村 直尚	R 2. 1. 1	〃	〃	—	学長
〃	町田 健	H29. 4. 1	〃	〃	—	附設高中校長
〃	石竹 達也	R7 年度定時 評議員会終結後	〃	〃	—	副学長
〃	荒井 功	R7 年度定時 評議員会終結後	〃	〃	—	副学長
〃	野村 政壽	R 5. 4. 1	〃	〃	—	大学病院長
〃	小原 清信	R 7. 3. 31	〃	〃	—	法学部長
〃	横倉 義武	R 5. 6. 17	非常勤	〃	○	医療法人理事長
〃	杉 健三	H30. 3. 24	〃	〃	○	医療法人理事長
〃	田中 正勝	R 5. 6. 17	〃	〃	○	社会医療法人顧問
〃	原口 新五	R 4. 3. 26	〃	〃	○	久留米市長
〃	蓮澤 浩明	R 4. 3. 26	〃	〃	○	福岡県医師会長
監事	坂田 哲	R7 年度定時 評議員会終結後	常勤	—	○	
〃	永松 雄一郎	H29. 6. 28	非常勤	—	○	税理士
〃	塩澄 哲也	R 5. 6. 28	〃	—	○	弁護士

「外部役員」欄は、私立学校法第31条第4項第2号に規定する外部役員に該当する場合、「○」。

【責任限定契約の締結状況】

私立学校法に従い、令和2年4月1日より責任限定契約を締結。

○対象役員 非業務執行理事（横倉義武、杉健三、田中正勝、原口新五、蓮澤浩明）
監 事 （永松雄一郎、塩澄哲也）

○契約内容の概要

非業務執行理事・・・その職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときは、金62万円と、その在職中に職務執行の対価として受け、又は受けるべき財産上の利益の1年間当たりの額に相当する額として私立学校法施行規則第3条の3に定める方法により算定される額に2を乗じて得た額との、いずれか高い額を責任限度額とする。

監 事・・・その職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときは、金120万円と、その在職中に職務執行の対価として受け、又は受けるべき財産上の利益の1年間当たりの額に相当する額として私立学校法施行規則第3条の3に定める方法により算定される額に2を乗じて得た額との、いずれか高い額を責任限度額とする。

○契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

契約の中に、役員がその職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときに限る旨の定めがある。

大学役職者

- 学長（理事）
内村直尚
- 副学長（理事）
石竹達也
- 副学長（理事）
荒井功
- 大学院比較文化研究科長
秋本耕二
- 大学院心理学研究科長
田上恭子
- 大学院ビジネス研究科長
福永文美夫
- 大学院医学研究科長
溝口充志
- 文学部長
吉田洋一
- 人間健康学部長
野田耕
- 法学部長（理事）
小原清信
- 経済学部長
伊佐淳
- 商学部長
金亨洙
- 医学部長
山本健
- 医学部看護学科長
益守かづき
- 医学部医療検査学科長
西昭徳
- 学生部長・学生支援室長
神原和宏
- 附属図書館長
桑野栄治
- 就職部長
園田直子
- アドミッションオフィス部長
伊藤祐
- 附設中学校・高等学校長（理事）
町田健
- 大学病院長（理事）
野村政壽
- 医療センター病院長
恵紙英昭
- 情報教育センター所長
石橋潔
- 比較文化研究所長
原口雅浩
- 分子生命科学研究所長
齋藤成昭
- 保健管理センター
安川秀雄
- 外国語教育研究所長
島村恭輔
- 先端癌治療研究センター所長
古賀浩徳
- 循環器病研究所長
福本義弘
- 高次脳疾患研究所長
小曾根基裕
- バイオ統計センター所長
古川恭治
- ビジネス研究所長
高橋宏幸
- 認定看護師教育センター長
古村美津代
- 皮膚細胞生物学研究所長
溝口充志
- 経済社会研究所長
葉山アツコ
- 留学生別科長
金田瑠
- 国際交流センター所長
池口守
- 基盤教育研究センター長
右田孝志
- 地域連携センター長
前田俊文
- IR室長
穴澤務
- 医学部附属臨床検査専門学校長
西昭徳
- 事務局長
江口訓史

(8) 評議員の概要 令和7年6月28日現在
 (令和7年度定時評議員会開催日：令和7年6月13日)

定員数 定数 36名以上38名以内 現員 36名

氏名	就任年月日	主な現職
吉田洋一	令和7年3月31日	文学部長
野田耕	令和7年3月31日	人間健康学部長
神原和宏	令和7年3月31日	法学部教授
伊佐淳	令和5年4月1日	経済学部長
金亨洙	令和7年3月31日	商学部長
山本健	令和5年4月1日	医学部長
齋藤成昭	令和7年3月31日	分子生命科学研究所長
恵紙英昭	令和5年4月1日	医療センター病院長
白水孝典	平成31年4月1日	附設高等学校教頭
今藤孝平	令和7年度定時評議員会終結後	医学部附属病院 病院経営室長
坂口太郎	令和5年6月17日	医学部附属病院 放射線部副技師長
梨子木博美	令和7年度定時評議員会終結後	医学部附属病院看護師長
横田泰司	平成27年11月27日	医療法人理事長
上村春甫	令和5年1月28日	医療法人会長
植田清一郎	令和2年6月17日	医療法人理事長
田中二三郎	令和7年度定時評議員会終結後	医院 院長
島田昇二郎	令和7年度定時評議員会終結後	社会医療法人会長
山木宏一	令和2年6月17日	医療法人理事
大尾正博	令和2年6月17日	特定非営利活動法人理事長
稗島行雄	令和5年6月17日	靴販売会社代表取締役専務
國武勝征	令和2年6月17日	

氏 名	就任年月日	主な現職
土 谷 昌 敏	令和 7 年度定時評議員会終結後	印刷会社勤務
平 誠 一	令和 2 年 6 月 1 7 日	大学教授（他大学）
木 下 博 和	令和 4 年 5 月 1 日	保険会社勤務
矢 島 潤 平	平成 2 3 年 6 月 1 7 日	大学院教授（他大学）
吉 良 強 志	令和 5 年 6 月 1 7 日	農業協同組合勤務
日永田 健	令和 7 年度定時評議員会終結後	公立学校教諭
兒 玉 尚 子	令和 7 年度定時評議員会終結後	病院 看護師長
高 橋 友 作	令和 2 年 6 月 1 7 日	
戸 次 鎮 史	令和 6 年 7 月 2 7 日	福岡県医師会理事
石 井 秀 夫	令和 7 年 6 月 2 8 日	久留米市議会議長
本 村 康 人	平成 1 9 年 1 1 月 2 2 日	久留米商工会議所会頭
澤 田 裕 介	令和 2 年 1 0 月 1 日	ゴム製品製造会社総務部長
崎 野 太 郎	令和 2 年 7 月 1 日	靴製造会社取締役
大 石 淳	令和 5 年 6 月 1 7 日	靴製造会社執行役員
植 田 省 吾	令和 4 年 7 月 2 3 日	久留米医師会長

(9) 会計監査人の概要 令和7年度定時評議員会終結後
 (令和7年度定時評議員会開催日：令和7年6月13日)

定員数 定数 1名 現員 1名

名称	就任年月日
有限責任監査法人トーマツ (監査法人)	令和7年度定時評議員会終結後

(10) 理事選任機関の概要

理事選任機関	構成員
理事会	全ての理事
評議員会	全ての評議員

【理事選任条項】

寄附行為第7条第1項

- (1) 学長（校長）のうちから理事会において選任した者 2名
- (2) 前号に掲げるもののほか、この法人の教育職員のうちから理事会において選任した者 4名
- (3) 久留米大学同窓会、久留米市及び福岡県医師会からそれぞれ推薦を受けた者のうちから評議員会において選任した者 5名
- (4) 第1号及び第2号に掲げるもののほか、学識経験者のうちから理事会において選任した者 3名以上5名以内

(11) 教職員の概要等

教職員数について

	令和5年4月1日現在			令和6年4月1日現在			令和7年4月1日現在			
	現員数	平均		現員数	平均		現員数	平均		
		年齢	年数		年齢	年数		年齢	年数	
教育職員	人 1,049 (4)	歳 43.42	年 12.02	人 1,057 (3)	歳 43.81	年 12.00	人 1,047 (2)	歳 43.66	年 12.15	
教育職員以外の職員	事務	376 (132)	43.18	14.08	395 (158)	43.01	13.22	399 (163)	43.34	13.23
	技術	454 (113)	38.02	11.20	463 (115)	38.44	11.51	466 (112)	38.21	11.25
	看護	1,380 (99)	37.93	13.24	1,377 (94)	38.17	13.59	1,401 (93)	38.25	13.68
	一般技能	105 (76)	44.43	9.39	103 (72)	44.45	9.70	94 (63)	44.03	9.50
	研究補助	163 (157)	45.83	13.36	163 (158)	46.87	13.14	153 (149)	47.14	13.69
	労務	9 (9)	60.00	9.22	9 (9)	59.67	8.67	7 (7)	60.29	8.43
	小計	2,487 (586)	39.61	12.83	2,510 (606)	39.88	12.94	2,520 (587)	39.87	12.99
合計	3,536 (590)	40.74	12.59	3,567 (609)	41.02	12.66	3,567 (589)	40.98	12.75	

(注1) 嘱託職員を()内に示す。

研修医数について

	令和5年4月1日現在	令和6年4月1日現在	令和7年4月1日現在
1年	36(歯科2名含む)	37(歯科4名含む)	33(歯科1名含む)
2年	40(歯科2名含む)	34(歯科1名含む)	36(歯科2名含む)
合計	76	71	69

2 事業の概要

(1) 事業の概要

令和7年度事業計画

予算管理及び予算統制については、平成28年度以降、補正予算編成に代えて四半期毎の実績及びその時点における収支見込みの精度を高めながら改善に努めてきたところである。令和7年度においては、学校法人久留米大学将来構想策定会議のビジョンを遂行していくための事業及び周年記念事業に向けての取組みを推進することを基本とし、教育・研究・医療と本学建学の精神及び基本理念の実践、基本構想の具現化、財務基盤の確立に向け邁進してきた。

日本私立学校振興・共済事業団の大学入学志願動向調査によると、令和7年度の私立大学全体の入学定員充足率は101.61%で、前年度から3.42ポイント増加し、入学定員充足率100%未満の大学は38校減少し316校53.2%で、6.0ポイント減少している。また、福岡県の入学定員充足率は106.95%で、前年度から2.39ポイント上昇している中で、本学の令和7年度入学者選抜状況は、志願者総数8,761人、前年度比947人の増、志願倍率約5.8倍、前年度から0.7ポイント上昇、また、入学定員充足率は1.21倍と前年度から0.11ポイント上昇し、一定数の入学者を確保した。今後、18歳人口がさらに減少することが見込まれており、福岡県と沖縄県を除く九州各県の大学進学率が50%未満であることから、本学が求める志願者と入学者の獲得に向けた競争は激しくなっていくことが予想される。さらに、コロナ禍から経済社会活動の正常化が進む一方で、物価上昇等による急激なコスト増加の影響もあり、私立大学や大学病院を取り巻く環境は例年以上に厳しくなっており、本学の財務運営も困難さを増している。

このように、不透明な社会環境及び本学の状況が続く中、本年度事業計画の具体的な推進については、将来に向けた施策、強固な財務基盤の確立に寄与する資金投入とすべく、本学の経営戦略上、中期計画における事業実施の意義を明確化し、過年度実施事業の検証、今後の収支計画を確認した上で、必要不可欠、優先度及び緊急性のある案件に限定するとともに、単年度収支を勘案して実施した。

令和7年度予算編成方針

令和7年度も四半期毎の状況確認を行い、各キャンパスにおいて改善に努めること、両病院における収支状況及び収支改善に向けた進捗を毎月の理事会にて報告すること等、収支改善に向けた諸施策を継続し、今後の施設設備整備の実施、社会環境の変化に対応し、収支構造の再構築、財務の健全化へと改善させていく必要があることから、「安定した財務基盤及び周年事業の準備に向けて、収入予算内で支出予算の編成に取り組むことにより、教育活動収支差額の均衡、経常収支及び事業活動収支差額黒字編成とする」、「予算編成及び収支改善に全学全教職員連携して取り組む」の2点を柱とする予算編成方針に基づき、予算措置を行った。

(2) 久留米大学将来構想に係る活動状況

第3次中期計画「学校法人久留米大学将来構想 Vision2022-2026」の5年間の計画は、令和7年度で4年目を迎えた。本学の収入の6割以上を占める医療収入は令和6年度診療報酬改定に伴う変動が生じているほか、また、支出面では委託費や物価高騰等が主な増加要因となっており、今年度を含む数年間は大学運営、病院経営を逼迫する大変厳しい状況が依然として続いている。

そのような中でも建学の精神及び基本理念に基づく教育・研究・医療・社会貢献の4つのビジョンの達成とそれぞれの質の向上を支援するため、安定した経営基盤を確立するという全学目標に向け、令和7年度の目標を設定した。

令和7年11月には、当該年度の目標に対する進捗状況の相互確認として将来構想策定会議を開催し、中間報告と今後の方向性等について情報共有及び確認を行った。中でも後述する医療センターの再編及び大学病院との統合は、将来を見据えた経営方針を決定し、目標や今後の活動予定等の変更を承認した。また、文系学部では、文学部と人間健康学部を改組し、18歳人口の減少等、将来の社会環境の変化やニーズに対応できるよう改編することが決定した。

さらに、令和4(2022)年から令和6(2024)年までの3年間の活動報告と今後の活動予定を記載した「将来構想 Vision2022-2026 中間報告書」を制作、教職員一人ひとりが活動状況や達成状況を理解し、今後の行動目標やKPI達成に向けて取組みを進めることができるよう、10月に学内及び評議員会にて周知を行ったほか、公式ホームページでも公表した。

令和8(2026)年度には第4次中期計画の策定を行う必要があることから、令和7年度後半においては、次の中期計画策定に向け、情報収集及び構成の見直しや策定スケジュール等の基本的な策定方針について検討を開始した。



(3) 事業計画等に係る進捗状況並びに教育、研究、診療及び社会貢献・地域連携に係る諸活動

教育に関わる事項

【御井キャンパス】

1. 御井本館教室のマルチメディア設備（機器・プロジェクター）の更新

【中期計画No. 御）A-2、C-1、C-3】

御井本館のマルチメディア設備は機器導入から10年以上経過しており、特に使用頻度の高い教室においては、教室に設置しているマルチメディア機器及びプロジェクターの故障や不具合が頻発しており、授業運営に支障をきたしている状況であった。御井本館の竣工後、御井本館への教室集約を行う方針に基づき授業運営を行っているが、現在のマルチメディアによる授業においてはマルチメディア機器及びプロジェクターの使用は必須であることから、今回の事業においては、使用頻度が高く故障や不具合が頻発している大教室のうち11A・12A教室のマルチメディア機器と133教室に設置しているプロジェクター1台の更新を行った。これにより、円滑な事業運営を行える環境が整備された。

2. 800号館LL3～5教室の学習席撤去及び新什器設置

【中期計画No. 御）C-1、C-2、C-3】

御井学舎では、長年にわたりLL教室の設備を活用して効果的な外国語学習を行ってきたが、時代の変遷に伴い、学生のスマートフォン所有数の増加、インターネット環境の普及、さらにはコロナ禍を経て学内Eラーニングシステムが定着する等、外国語教育や学習を取り巻く環境は大きく変化した。そのような中、当該3教室のLLシステムは前回の更新から18年が経過しており、また、令和5年8月に老朽化したヘッドセットを撤去していたこともあり、LLシステムの主要機能のマイクやヘッドホンを使った学習は実施不能となり、LL専用パソコン（PC）のメーカーによる修理対応期限は終了した状態であった。

以上のことから、外国語教育研究所において、その理念の一つである「協同学習」に基づく議論を重ねた結果、外国語教育の質と効果をさらに高めるためには、当該3つのLL教室の環境について、800号館6階のAV教室のような環境（ペアワークやグループ学習の際に机や椅子を自由に配置できるよう可動形式のものに変更し、協同学習の実施を容易とすることで、学習効果を向上させるもの。）に改装することが最適であるとの結論に至った。

具体的な改装内容は、LLシステムが備え付けられた2名掛けの固定式机を撤去し、キャスター付きの一人掛け机に変更すること、併せて、老朽化した椅子を更新し、経年劣化した床の張り替えを行うことである。改装・更新作業は授業に影響を及ぼさない夏季休暇期間に実施し、3教室に新規の机と椅子（ともにキャスター付き）が40台ずつ設置された。AV教室への改装は、外国語教育の質を飛躍的に向上させる絶好の機会であり、今回の計画実施により、想定どおり教室内でのアクティブな授業が可能となった。

なお、今回の更新で廃棄対象となった椅子120脚は、状態の良い物から30脚余りを選別し、旭町キャンパスで再利用された。

3. 800号館LL2及びLL6教室教員機並びに教員機用LLプログラム更新

【中期計画No. 御) C-1、C-2、C-3】

令和7年度事業計画において、LL3～5教室の環境をAV教室仕様に変更することとなったが、LL2教室及びLL6教室については、引き続きLL教室として使用を希望するクラス用として、従来のLL機能を残し、その便宜を図ることとした。

しかしながら、両教室のLL用教員機(PC)及び教員機用のプログラムに関しては、前回の更新から16年が経過し、PCは旧型機器を使用していたことから、OSのアップデートやそのサポートが十分に機能しない等のトラブルが発生する可能性が高く、また、メーカーの修理受付期限が終了しているため、一旦故障した場合に修理が可能か、修理が可能な場合であってもどの程度の期間を要するか等について不明確な点があり、従来のLL機器を使用して行う授業に大きな支障をきたすおそれがあった。

以上のことから、旧型のLL用教員機及びプログラムの使用から生じ得る不具合や故障の可能性を軽減し、かつ、授業を滞りなく効果的に実施することを目的として、教員用PC及びLL用プログラムの更新を行った。また、LL2教室においては、44台のヘッドセットが旧モデルで劣化が著しかったため、併せて新機種に変更した。

今回の更新により、機器のトラブル問題は解消され、安定した授業環境が整えられた。

4. エアロバイク(固定式自転車)購入【中期計画No. 御) C】

御井アリーナトレーニング室に設置していたエアロバイク(固定式自転車)は、有酸素トレーニングや競技復帰に向けたアスレティックリハビリテーション等で使用していたが、購入後30年前後経過していたことにより、老朽化が進んでいたため、今回、新規購入整備を行った。これにより、トレーニング室を利用する学生や教職員等に対して、より安全なトレーニング環境を提供することが可能となった。

5. 御井本館1階風除室前 庇(ひさし)設置【中期計画No. 御) A-2-2】

御井本館1階風除室前の庇は、授業の前後で最も学生の通行量が多くなる出入口に設置しており、雨天時に通路が狭くなり人の流れが滞っていたため、今回設置工事を行った。これにより、既存の庇を拡張したことで雨天時の通路幅が確保され、利便性が向上したことで、より安全な通行が可能となった。

6. 800号館(御井メディアセンター)ゼミ室椅子更新【中期計画No. 御) A-2、C-1】

800号館(御井メディアセンター)のゼミ室(3階のフロア)に設置している椅子は、導入後30年が経過したことから、経年による劣化が激しく、また、座面が布製で汚れが目立つ状況であったことから、授業環境の改善を図るため、更新を行った。

【旭町キャンパス】

1. 旭町学内LAN基盤ネットワーク【中期計画No. 旭) C-b】

本事業は、旭町キャンパスの研究、教育及び事務業務を支える基幹ネットワークにおいて、その中核を担うコアネットワーク機器を更新したものである。

最新の技術仕様を備えた機器への刷新により、巧妙化・急増する情報セキュリティリスクへの防御機能を最新化するとともに、物理的な老朽化に伴う通信障害リスクを低減し、安全かつ安定した運用環境を構築した。また、学外クラウドサービスの利用拡大による通信トラフィックの増大を勘案し、基幹部分の通信処理能力を拡張することで、昨今の高度化したシステム要件にも対応可能な教育・研究活動を支えるネットワーク基盤を実現した。

2. 医療検査学科開設に伴う物品購入【中期計画No. 旭）A-2-4】

メディカルサイエンスに精通する次世代型臨床検査技師を養成することを旨とした医療検査学科に必要な機器・書籍等を、令和5年度から3年にわたり整備してきた。

年次整備計画の最終年度となる令和7年度には、血清蛋白・尿比重計(一体型)15台を購入し、計画していた全ての物品購入が終了した。

【大学共通（全学）】

1. ドイツ・パッサウ大学との学術交流協定締結

ドイツの公立大学であるパッサウ大学は、充実したドイツ言語センター、世界各国の大学との盛んな留学プログラム及び共同研究プログラムを有し、国際性の高い大学として評価されており、近年においては、コンソーシアム型の医学部が新設され、7セメスター目以降の医学部生の受入及び指導を開始する予定である。本学と同大学は、令和6（2024）年度にオンラインでの合同授業及び学生同士の交流を行ったところである。また、本学では毎年8月にドイツ語語学研修を実施しており、ドイツ語圏への語学研修を希望する学生が一定数在籍している。

本協定締結の目的は、学生間及び教職員間の学術交流をさらに発展させることにある。これらを踏まえ、国際的視野を持つ実践的人材を育成し、地域の国際化を先導する役割を担っていくとする本学の国際交流における基本理念の実現にも寄与することから、令和7年6月23日付けで協定締結を行った。

2. タイ・シーナカリンウィロート大学との学術交流協定締結

シーナカリンウィロート大学は、昭和24（1949）年設立の高等教員養成学校及び昭和28（1953）年設立の教育大学から発展し設立されたタイの国立総合大学であり、バンコクのプラサーンミット・キャンパスにおいては都市の利便性を活かした教育及び研究活動が行われ、ナコーンナーヨック県のオンガラック・キャンパスにおいては1年生及び臨床研修課程の学生が施設を利用している。また、同大学は世界各国の大学との留学及び共同研究プログラムが充実しており、国際交流に積極的に取り組んでいる。今般、本学教授と同大学教員との交流を契機に学術交流協定締結の提案がなされたところである。

本協定締結の目的は、学生間及び教職員間の学術交流を発展させることにある。これらを踏まえ、国際的視野を持つ実践的人材を育成し、地域の国際化を推進するとの本学の国際交流における基本理念の実現にも寄与することから、令和7年8月7日付けで協定締結を行った。

3. 韓国・建陽大学との学生交換協定締結

本学と韓国の総合私立大学である建陽大学においては、平成21（2009）年1月に学術交流協定を締結しており、これまで教員の受入れ並びに学生の受入れ及び派遣による交流が行われてきた。今般、令和7（2025）年5月に同大学対外協力処長が来学された際、更なる交流の発展のため、学生交換協定締結の提案がなされたところである。

本協定締結の目的は、本学と同大学との間で学部学生の交換留学を奨励することにある。本学において、韓国語は初修外国語のうち最も履修者が多く、韓国文化への関心の高まりに伴い留学や研修への参加者も増加傾向にある。さらに、本協定により同大学の授業料の免除及び専門科目の履修が可能となり、学生の経済面及び学習面に大きなメリットがあることから、令和7年11月20日付けで協定締結を行った。

4. カナダ・ビクトリア大学との学術交流協定締結

ビクトリア大学はカナダのブリティッシュコロンビア州ビクトリア市にある公立総合大学であり、同大学の英語学習プログラムであるELC（English Language Centre）は、50年以上の歴史を持ち、一般英語から専門英語まで幅広く学ぶことができ、また、同大学への進学準備プログラムを提供しているため、長期留学においては同大学生と同じ環境で学べることも大きな魅力である。本学においては平成20（2008）年に語学研修に関する基本協定を締結後、同年から令和7（2025）年までに125名の学生が夏期語学研修に参加している。

本協定締結の目的は、学生間及び教職員間の学術交流の発展を図ること並びに本学学生が同大学において協定留学を行い、長期語学研修を実施することにある。これらを踏まえ、本学が国際交流の基本理念として掲げる国際的視野を持つ実践的人材の育成及び地域の国際化推進の実現にも寄与することから、令和7年11月12日付けで協定締結を行った。

5. アラブ首長国連邦・アブダビ大学との学術交流協定

アブダビ大学はアラブ首長国連邦の首都アブダビに所在する総合大学であり、THE世界大学ランキング2026において201位－250位にランクインしており、アラブ首長国連邦の将来ニーズ及び国際トレンドを見据えた教育プログラムの提供に努めている。協定締結の経緯は、同大学の国際交流担当教員がエジプトのカイロ大学出身であり、過去に本学の短期日本語研修に参加した学生（平成27（2015）年、平成28（2016）年ともに2名の受入実績あり）を通じ本学の教育内容及び研修プログラムの特長を知り、交流を希望していたことにある。

本協定締結の目的は、学生及び教職員間の学術交流を促進すること並びにアブダビ大学学生を対象とした短期日本文化研修を本学で実施することにある。本協定の締結により、多様な外国人学生の受け入れが可能となり、本学学生の異文化理解や国際的視野の涵養が期待される。これらは、本学が国際交流の基本理念として掲げる国際的視野を持つ実践的人材の育成及び地域の国際化への貢献にも寄与することから、協定を締結することとなった。

6. 北京教育交流センターの廃止

久留米大学北京教育交流センターは、中国における留学生別科生の募集、留学生入試、学術交流に係る大学等との連絡調整、情報収集、就職支援、広報活動等を行う拠点として、平成12年4月に久留米大学北京事務所として設置し、その後、名称変更を行い活動してきたところである。しかしながら、別科生募集停止の判断に至ったことを受け、令和8年3月31日付けで同センターを廃止した。

7. 附属図書館情報システムの更新【中期計画No. 旭）A-2、C-b、E、御）C】

現行の図書館システムは、令和6年8月のリース期間満了後、1年間のリース延長により継続運用を行ってきた。当該システムは、本学における基幹的な情報資産であるため、高度な情報セキュリティ対策及び継続的かつ安定的な運用管理が求められることから、令和7年8月末の更新においてオンプレミス版からクラウド版へ移行した。また、クライアントパソコンは情報システム室へ管理を移管し、全学的に実施されたクライアントパソコン更新に含めることとした。

本更新及び移管により、情報セキュリティポリシーに基づく一元的な管理体制を確立し、より安定的かつ効率的なシステム運用が図られることとなった。

【附設高等学校・中学校】

1. 第2体育館及び特別教室棟の新築工事（1号館解体・什器・移転他含む）

【中期計画No. 附）B-1-3】

近年、男女共学化やクラス数の増加に伴い、現有校舎の教室や屋内体育運動施設だけではカリキュラムを編成することが難しい状況となっていた。この状況を踏まえ、個々の生徒に対する教育効果を高めるためにも、充実した教育・学習環境の提供は必須であることから、周年記念事業としてICT関連教室や芸術関連教室等を有する特別教室棟及び第2体育館を建設することとし、令和5年度に調査・設計を行った上で、令和6年7月に特別教室棟の建設工事を開始、令和7年7月末に完成した。その後、1号館及び図書館棟からの移転作業、特別教室棟の什器の設置についても無事完了した。

なお、1号館及び図書館棟については移転後から解体を開始し、令和8年1月末に完了したことから、基本財産の処分を行うことで第2体育館の建築準備が整った。

2. 教員校務用端末（ノートパソコン）の貸与【中期計画No. 附）C-1-2】

これまで、大半の教員が個人所有のパソコンで業務を行っていたことから、情報セキュリティの観点から踏まえ、学校所有のノートパソコンを準備した上で、それらを管理することで情報漏洩等が発生しない環境を整えることとし、令和7年12月から全教員への貸与を開始した。

今回、教職員用ノートパソコンが整備できたことにより、教育活動及び校務全般においてICTの効果的な活用を進めることが可能となった。授業においては、教職員がノートパソコンを用いてデジタル教材や動画資料を提示するとともに、学習支援ソフトやクラウドサービスを活用した課題配信、学習状況の把握、評価の効率化を行っている。これにより、生徒一人一人の理解度に応じた指導や探究的・協働的な学習の充実が見込まれる。

3. 附設高等学校創立75周年・中学校創立55周年記念式典等の挙行

令和7年11月2日、久留米シティプラザにて創立記念式典及び祝賀会を挙行了。式典には、生徒、教職員のほか、理事長、学長をはじめとする多くの来賓、後援会、同窓会、他校関係者等に列席いただいた。式典終了後の祝賀会においては、式典と同様に多くの関係者が参加し、式典・祝賀会は大盛況のうちに終えることができた。記念誌については、学内外の関係者の協力もあり、無事に完成した。学校、後援会、同窓会が三位一体となり、次の100周年へつながる記念事業を行うことができた。

研究に関わる事項

1. ダイバーシティ・インクルージョン（D I）推進室の大学附置センター化

令和2年度にダイバーシティ・インクルージョン（D I）推進室を設置し、多様性を促進する実践的な歩みを進めてきたが、本学の成長戦略に結び付けるためにも、より科学的・体系的なアプローチが必要であり、その実現においては、文医融合の知見を活かすことに加え、取り組みの効果を検証し、発信する研究機能の整備が不可欠であると判断した。

これらを踏まえ、医系と文系の知を融合し、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（D E & I）推進活動を学術レベルに高めるとともに、活動対象を全学に広げ、エビデンスに基づく施策を通じて、本学の持続的発展に寄与することを目的に、令和8年4月1日付けで、大学附置のセンターとして「久留米大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（D E & I）推進研究センター」を設置（改組）することが承認された。

診療に関わる事項

【大学病院】

1. 診療用高額機器の更新等【中期計画No. 病) A-3-1】

診療用高額機器類の選定については、病院執行部を中心として、医療機器更新等の可否を厳格に判断するため、各部門から提出された申請書124件の内容を確認した上で鋭意検討した。選定にあたっての評価基準としては、病院の機能・運営の継続に影響を与える機器の更新を最優先とすること、また、新規申請については、緊急性や計画性、費用対効果等、多方面からの評価は勿論のこと、有効活用の観点からも他部門と共有可能な機器であるか否かを評価した。さらに、老朽化した機器については、修理頻度等も勘案し厳選した。

その結果、124件の申請に対して75件、率で60.5%（令和6年度48.0%）の診療用高額機器を選定した。老朽化により更新した主な機器は「画像診断センターのMR I装置の更新」であり、患者の負担軽減と業務の効率化を図るとともに、最新技術の活用による診療精度の向上のみならず次世代の医療スペシャリストの育成や地域医療の発展に貢献するため、老朽化した装置を超電導磁石式全身用MR装置へ更新したもので、装置の性能向上により、安全で効率的な診療の継続に貢献している。

2. 医療連携センター機能の一部移設と「検査予約カウンター」の新規開設

【中期計画No. 病) A-1、B-1、D-1-1】

医療連携センターでは、大学病院の重点目標である病床稼働率の向上と初診患者数の増加を達成するために重要となる初診患者の紹介予約、後方支援、入退院支援、ベッドコントロールといった業務を中央管理している。近年、医師の業務負担軽減や患者待ち時間短縮を目的としてメディカルクラーク等を含めた人員組織体制の強化を図っているが、これに伴いオフィス面積が不足し、採用活動を停止せざるを得ない状況であった。

このため、総合診療棟3階のセミカルテ室を改修し、後方支援及び外来クラーク機能等の医療連携センター業務の一部を移設・拡充した。これにより、各診療科の検査予約や各種説明業務を新設の検査予約カウンターが担うことで、外来運用効率化と患者サービス向上に貢献することが可能となった。加えて、メディカルクラークの採用活動を再開することにより、診療報酬における医師事務作業補助体制加算の最上位区分（15対1）の算定と院内外の連携強化を図り、質の向上に今後も努めていく。

3. クリーンルームエアコン取替工事【中期計画No. 病) C-2】

総合診療棟1階薬剤部内のクリーンルームでは、主に心臓手術で使用される心筋保護液、食事摂取困難な患者のTPN調製、外科治療で用いる院内製剤等を作製している。当該業務遂行のためには清潔操作を伴う薬剤のクリーン度を保つ必要があり、そのためにはエアコンの稼働が必須であるが、平成19年からの継続使用により適切な温度・湿度の管理が困難となり、心臓手術の停止、外科的処置の一部停止、清潔でないTPNを投与することによる院内感染拡大が懸念される状況であった。

今回、エアコンを更新したことで、クリーンルーム内における厳密な温度・湿度管理が可能となり、高度な無菌環境が安定的に確保されたことにより、当院が提供する高度医療の安全性を根幹から支え、患者満足度及び医療安全のさらなる向上に寄与する体制の維持が実現した。

【医療センター】

1. 手術室医療機器の更新【中期計画No. 医C）B-1-2】

手術室の適切な機器更新は、入院稼働を中心とした収益向上と経営の効率化による安定した基盤の構築を行う上で重要な機器設備投資であるが、令和7年度は電動式手術台1台、生体情報モニター1台を更新した。

手術台については、導入後20年以上経過している機器の更新であることを踏まえ、令和5年度に更新した際に採用したミズホ社製「MOT-VS600」とした結果、充実した安全機能、手術用途に応じた昇降アレンジができる等の操作性が向上した。生体情報モニターについては、フィリップスジャパン社製のIntelliVueを採用したところ、電子カルテシステムとの接続により、医療情報との協調強化や操作性、視認性が向上した。いずれの機器も手術の円滑な実施に貢献している。

2. 臨床検査室における超音波画像診断装置（心エコー）の導入

【中期計画No. 医C）B-1-2】

臨床検査室にて使用している超音波画像診断装置について、導入後10年近く経過したことも踏まえ更新した。更新した機器はGEヘルスケアジャパン社製 汎用超音波画像診断装置Vivid E95であり、高い解像度と明瞭な画像に加え、3D/4Dプローブを用いての診断的画像が可能となっているため、臨床への貢献度も高く、特に心臓超音波検査に用いている。

なお、当初はリース契約での導入を検討していたが、「医療センターの再編及び大学病院との機能統合」方針が示されたことに伴い、将来的な移設を前提としたことから、購買での導入に至ったものである。

3. 部門仮想サーバシステム更新【中期計画No. 医C）A-1-5】

当院が使用していた部門仮想サーバは11台のサーバによるシステムとなっているが、稼働状況等を勘案した結果、5台前後で運用できる見込みとなり、また、令和7年4月から運用開始される大学病院の仮想サーバに組み入れ可能であることが判明したことを踏まえ、当院で独自に仮想サーバを更新設置するのではなく、大学病院の機器を利用して更新する方針とし、業者委託による大学病院の仮想サーバへの移行作業を行うこととなった。この結果、導入経費を大幅に抑制することができた。

4. 「医療センターの再編及び大学病院との機能統合」に向けた医療センターでの対応

(1) 院内教職員への周知

令和7年3月の評議員会において、「医療センターの再編及び大学病院との機能統合」方針（以下、「本方針」とする）が了承されたことを受け、4月に開催された久留米大学経営会議にて具体的な病棟の計画的閉鎖について協議了承され、同月に開催された臨時拡大診療科長会議において説明されるとともに、今後の検討の中心となる「病棟機能統合WG」の設置及び両病院タスクフォースの人選結果が報告された。

また、同年7月に開催された久留米大学経営会議において、本方針に関する人事異動の方針が決定されるとともに、当面の病棟閉鎖方針として、5階東入院棟を9月末に閉鎖すること、令和9年12月末までに外来機能を含む全教職員の大学病院への配置転換が決定した。これらについても、7月に開催された臨時拡大診療科長会議にて説明された。その後、院内検討が進み、11月開催の経営総合委員会において、令和8年3月末で4階西入院棟（地域包括ケア病棟）の閉鎖方針が了承され、12月の診療科長会議で説明された。

さらに、令和8年1月に開催された久留米大学経営会議において、MIC（メディカルイノベーションセンター）を大学病院に令和8年10月末までに移転すること、心カテ装置を令和8年度中に大学病院に移設することについて了承されたことを受け、2月の診療科長会議で説明された。

（2）地域住民、地域医療機関への理解促進

本方針について、広報室から5月12日にプレスリリースがあり、翌日の各新聞にて報道された。また、5月下旬にはNHKより取材があり、医療特集番組の中で紹介された。

地域医療機関に対しては、医師会行事や久留米地域包括ケアシステム（KICS）関連会議等で病院長から丁寧な説明を繰り返し行っているが、特に今回の機能統合において、整形外科の患者紹介のあり方が抜本的に変更されることから、リハビリ部会が中心となり、「リハビリ地域医療連携の会」を開催した。この会において、重症度の高い患者の受入、地域連携パスへの理解促進等、地域医療機関に丁寧な説明を行っている。これまでに2回（8月、令和8年1月）開催したところ、いずれも地域医療機関から100名前後の参加があり、地域医療機関での理解が着実に進んでいる。また、11月に福岡県保健医療介護部、12月に久留米市健康福祉部に対し、説明を行った。

（3）機能統合に向けた当院内の取組み

本方針が示されたのち、5月に第1回の病院機能統合WGが開催され、手術部会、病棟再編部会、リハビリ部会の先行設置が決定し、当院内のWGメンバーの人選も行った。以降、前述の3部会においては、院内合同会議での課題の把握のほか、6月にはコメディカル部門からヒアリングを実施した。続いて、9月以降にコメディカル各部会を設置し、両病院が協働して各種課題の解決に努めた。特にコメディカル部会では、病棟縮小に伴う人員体制の見直しを中心に検討を進めた。また、整形外科の機能統合が予定されていることから、円滑な患者の地域医療機関への紹介体制を構築するべく、医療連携センターにリハビリ技師を兼務配置することとなり、10月から1名を配置した。さらに、閉院への準備として、福岡県から示された「令和8年度福岡県病床機能再編支援事業費給付金」について事前申請を行うとともに、申請については久留米医師会の関係者との情報共有も行った。

今後の課題としては、令和8年度以降、当院の診療体制や医師体制が縮小されることにより、当直医、日直医の確保が厳しくなることが想定され、両病院での協力体制を早期に確立することが求められていることから、鋭意対応した。

社会貢献・地域連携に関わる事項

1. 久留米大学社会貢献活動振興基金規程の制定

本学は「社会貢献」を基本理念の一つに掲げ、将来構想のビジョンとして、また、令和2年度から開始した「新時代を拓く久留米大学募金」の寄付メニューの一つとして位置づけている。昨今、地域をフィールドとした教育や研究活動あるいは本学が有する知的財産やその成果を活かし、地域の企業や団体、行政等と連携しながら社会の課題解決に取り組むことがこれまで以上に求められている。今後も地域と共に発展していくためには、本学が取り組む社会貢献活動を将来にわたり長期に持続していくための財源確保が必要不可欠であり、永続的な資金確保のための仕組み作りが必要となる。

このため、研究支援を目的として寄付金を原資に基金化し助成を行っている「学術研究振興基金」に倣い、社会貢献や地域貢献への支援を目的とした寄付金を原資に基金化することで、永続的な助成が可能となること、また、安定した財務基盤の確立の一助とするため、「社会貢献活動振興基金」を創設した。

2. 鳥栖市との包括的な連携に関する協定締結

本学には鳥栖市出身の学生が140名以上在籍しており、これまでも保育実習の受け入れや、教員指導の下での学生団体によるプログラミング教室の開講、本学教員の市審議会委員への就任等、多方面で連携実績を積み重ねてきた。また、介護予防講演会への講師派遣や地域活性化プランを提言する授業の実施、さらにはデジタル人材育成に向けた教員・学生の参画についても協議が進んでいる。

これらを踏まえ、「幅広い分野における人的・知的資源の交流と機会の活用」を図ることを目的として、令和8年2月26日、鳥栖市役所にて包括連携協定の調印式を執り行った。

3. ドイツ兵俘虜久留米収容所記念碑建立

医療センターの敷地内に、「ドイツ兵久留米俘虜収容所記念碑」の設置を行うこととなった。これは、大正時代に存在したドイツ兵俘虜収容所に関する正しい歴史認識の涵養と市民、来訪者への情報提供を行うこと、また、収容所に収容されたドイツ兵俘虜が久留米市民との交流を盛んに行ったことにより、久留米の産業・文化が大きく発展したことを踏まえ、その礎を築いたドイツ人への顕彰を行うこと、さらには、久留米市南西地区周辺の観光歴史遺産を含め、来訪者の回遊性を高め、地域活性化と観光振興に貢献すること等を目的としたものである。

本事業推進に関しては、久留米市の補助金申請を請願していたところ、4月に公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から150万円の補助金支給に関する連絡を受けた。その後、同市文化財保護課や文学部教員の助言を得ながら、記念碑、説明板の設置準備を進め、令和8年3月に無事竣工した。説明板には、本学の「ドイツ兵俘虜久留米収容所特設サイト」ホームページにつながるQRコードを掲載しており、地域住民等が詳細に関する理解を得ることができるよう対応している。

4. SDGs推進プロジェクトの取組み

医学部総合グラウンド及びその他の施設を有効に活用し、これまで以上に地域に密着し人生100年時代を見据えた地域貢献活動に取り組むSDGs推進プロジェクトは、今年度3年目となり、地域の活性化及び持続可能なまちづくりに貢献するため、イベント等を開催した。

今年度の活動として、まずはこれまでも好評をいただいているストレッチ教室を開催した。参加者は約15名程であるが、全6回にわたる教室で、人間健康学部の教員による講話、本学OB・OGや現役学生のサポートによる運動や測定の実践等が行われ、高齢期の健康維持に必要な知見とリソースを提供することができた。また、小学生を対象としたサッカー教室では、Jリーグや協賛企業の協力のもと、元Jリーガーを招いて開催、約70名の子ども達や保護者等多くの方に参加いただいた。さらに、ラグビーフェスティバルでは、健全な育成、技術向上を目的に2日間にわたり開催し、高校生を中心に福岡、長崎、山口県から計8校、200名を超える選手が参加した。

地域のスポーツや健康増進促進の拠点となる医学部総合グラウンドの利用者の延べ人数は、年々増加傾向となっている。今後も本プロジェクトを通じて、地域の子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の多くの方が参加でき、かつ、地元企業からの共感を得られ協賛に繋がるようなイベント等を企画し、SDGsの精神である健康と福祉、質の高い教育、そして住み続けられるまちづくりに引き続き取り組んでいく。

省エネ対策及び施設設備の適正な維持管理に関わる事項

1. 施設設備整備

設備の老朽化対策とエネルギーコストの改善を図るとともに、国が目指す2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に貢献するため、高効率設備機器の導入を中心に以下の事業を実施した。

- ・御井第2部室棟冷暖房機更新 【中期計画No. 御) A-2-2】
- ・御井900号館冷暖房機更新 【中期計画No. 御) A-2-2】
- ・御井1000号館冷暖房機更新 【中期計画No. 御) A-2-2】
- ・御井千歳会館冷暖房機更新 【中期計画No. 御) A-2-2】
- ・臨床研究棟空調設備更新 【中期計画No. 旭) A-2-4】
- ・医学部冷暖房機更新 【中期計画No. 旭) A-2-4】
- ・医学部各所トイレ整備 【中期計画No. 旭) A-2-4】
- ・総合診療棟空調設備他更新 【中期計画No. 旭) A-2-4】
- ・総合診療棟1階薬剤部クリーンルーム他空調改修 【中期計画No. 旭) A-2-4】
- ・病院本館照明LED化 【中期計画No. 旭) A-2-4】

(4) 管理・運営に係る諸活動

1. 久留米大学創立100周年記念事業

令和6年7月の理事会において承認された創立100周年記念事業が本格的に始動した。記念事業を実施するために設置した4つの委員会（建築委員会、記念式典検討委員会、募金委員会、百年史編纂委員会）が、それぞれの事業のスケジュールに沿って、企画や提案の選択、業者選定等の手続きを進め、具体的な活動を展開した。また全体的な進捗状況等を管理するため、第2回久留米大学創立100周年記念事業準備委員会を9月下旬に開催し、各委員会の進捗や実施状況の報告と今後の予定や計画等が共有された。

なお、令和7年度における各委員会の活動状況については、以下のとおり。

ア. 建築委員会の設置

令和6年度に組織された創立100周年記念事業建築委員会のもとに、医学部教育棟建築実行委員会が組織され、これまで5回の委員会を開催し、令和7年度は、基本コンセプトの策定、諸室要求書（仕様書）の作成、学生アンケートによる意見集約等を進め、指名した設計業者による技術提案説明会及び医学部教育棟建築実行委員会での意見集約を経て候補業者の選定を行い、建築委員会へ上申、学校法人久留米大学建設工事業者等選定委員会において設計業者を決定した。

基本コンセプトを「未来の『医療仁』を育む、緑波打つ知のキャンパス」構想（～医学・看護・医療検査がつながる、緑と共生する次世代医療教育拠点～）と策定、狭隘な現行の教育1号館の機能に対し、自主学習室の環境整備及びラーニングコモンズやIT技術等のスマート化を充実させるとともに、医学図書館の機能を併設した仕様を提示し、医学部教育棟（仮称）新築プロジェクトを推進した。

併せて、大学本館の耐震補強を完了させるとともに、老朽化していた大学本館南側の渡り廊下の建替えを行った。

イ. 募金委員会

令和7年度に入り、募金趣意書の発送を順次、計画的に実施した。今年度は、教職員をはじめ、各同窓会と確認調整を行い、同窓会をとおして同窓生への発送、元教職員、在学生保護者、教育関連病院等に対し、約5万8千件を超える募金趣意書を発送した。また募金開始と併せて、募金のホームページ開設とWeb版の芳名録を作成した。年度の終盤には100周年の2年前となることを契機とした特典付き寄付御礼キャンペーンを企画し、創立100周年の機運醸成と寄付金増への一助として取り組んだほか、次年度に取り組む取引企業への寄付依頼についての準備を行った。

ウ. 百年史編纂委員会

令和6年度に編纂委員会が設置されて以降、年史として制作する刊行物についての検討を重ね、歴史編と資料編の2冊からなる百年史及び記念式典来場者に配布する一般向け冊子の制作を決定し、プロポーザルを実施した。制作企業決定後には、百年史制作の基本方針や目次構成等、制作の根幹となる事項について検討を進めるとともに、並行して一般向け冊子については、構成の決定、インタビューを記事化する内容とした。創設に関わる本学の歩みや、これまで多くの人材を輩出してきた本学の卒業生について、同窓会と共に取材候補者を選考した。その他、地域に根差す大学であることを表現するべく、地域の企業・関係者等の取材対象の候補者を選考し、取材協力の要請を進めた。

2. 山田收久留米大学整形外科学研究助成基金の創設

令和7年2月にご逝去された本学医学部（当時、久留米医科大学）卒業の山田 收（おさむ）氏のご遺族から、故人の名を後世にも伝え、併せて、故人のご遺志を継承していきたいとの思いから、冠寄付制度を活用した「山田收久留米大学整形外科学研究助成基金」創設のため、多大なご寄付をいただいた。故山田 收氏は医学部卒業後、医学部整形外科学講座に入局、その後も市内で病院を経営しながら、本学の医学教育のために継続的なご支援をいただいております、そのご遺志を受け継ぐ形でご支援いただいたものである。

設置された当該基金の運用益は、故人やご遺族のご意思に従い、本学の整形外科学分野の発展及び振興を目的に使用することとしている。なお、当該基金は第3号基本金引当特定資産として経理するものである。

3. 久留米大学医学部附属臨床検査専門学校の廃止

臨床検査専門学校は、昭和43年に医学部附属衛生検査技師学校として創立されて以来、校名の改称を経て、昭和51年に現在の医学部附属臨床検査専門学校となり、本学の教育活動の一翼を担ってきたところである。

専門学校の特色を活かし、3年間で臨床検査技師の国家資格が取得できる充実した教育プログラムを提供するとともに、病院での臨地実習を重視し、実社会で即戦力となる臨床検査技師の育成に努め、これまでに2,346名（令和7年3月現在）の卒業生を育成してきたところであるが、臨床検査分野における医学・医療の進歩は目覚ましく、最先端の医療現場で対応できる人材、AIやバイオ統計学の知識に加え、質の高い臨床検査専門教育を基盤とするメディカルサイエンスに精通した次世代型臨床検査技師の育成を行うべく、令和6年4月に医学部医療検査学科を開設した。

これにより、本学臨床検査専門学校は、令和6年度から学生募集を停止し、在籍学生32名の卒業も決定したことに伴い全課程を修了する運びとなったため、令和8年3月31日をもって閉校（廃止）することとなった。

4. カスタマーハラスメント対策への取組み

「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律等の一部を改正する法律（令和7年法律第63号、令和7年6月11日公布）」により、令和8年10月1日からカスタマーハラスメント（カスハラ）対策が義務化されたこと、また、近年、教育・医療機関においても過度な要求等のカスハラが増加しており、職員の心身の保護を図る必要があること、さらには、内部統制システムの適切な運用等の観点から、全学的な対策を実施する必要が生じたことを踏まえ、本学におけるカスタマーハラスメント対応方針を策定した。同対応方針は令和8年4月1日付けで施行するもので、正当な要望等に対しては、都度、適切に対応するものの、カスハラと判断した場合は組織として毅然とした対応をすることにより、健全な職場環境の確保に努めること、また、本学の教職員等が学内外を問わず、カスハラ等のハラスメント行為を行わないよう努める旨について、ホームページ等を通じて学内外に周知することとしている。

また、昨今、名札に掲載されている個人情報（氏名、顔写真等）をSNSで拡散する等のカスハラが深刻化しており、官公庁を中心にカスハラ対策として名札の様式変更がなされていることを踏まえ、本学教職員の名札について、令和8年1月に、大学名及び苗字（漢字、ひらがな）のみを表記した様式に変更した。

5. 文系学部改編に伴う広報活動

令和9年4月の文系学部の改編に伴い、志願者層への早期周知及び大学の魅力発信を目的に、広報活動を展開するための媒体制作に取り組んだ。制作企業はプロポーザルにより選定し、改編を行う関係学部や入試業務の関係者等が参画する教職協働体制のもと「人」をテーマに、文医融合を押し出したキービジュアルが完成した。

年末から年始にかけて、制作したチラシ、ポスターを学内外に広く展開するとともに、ホームページでは特設サイトを開設し、PR用動画も制作する等、様々な媒体やツールを活用し、春のオープンキャンパス開催情報と併せ、広く広報活動を展開した。



6. 健康診断管理システムの更新

保健管理センターの基幹業務である健康診断を安定的に継続するため、保守終了が予定されていた管理システムの全面更新を完了した。選定にあたっては、複数社との比較検討を経て、柔軟性や費用対効果、導入後の保守体制に優れたシステムを採用した。令和6年度中からの事前構築を経て、令和7年4月から予定どおり本稼働を開始した。今回の更新に際し、病院内関連部門とのデータ受け渡し方法をCSV形式に統一する改修を施したことで、複雑な健診データの管理・通知業務の簡便化を実現した。これにより、労働安全衛生法等の法令遵守と教職員・学生への良質な保健サービス提供の両立を図った。

7. ヘリポート（非公共用）の廃止

救急患者搬送を目的として平成9年3月に設置した久留米大学ヘリポートは、病院本館屋上階へのヘリポート（飛行場外離着陸場）設置により、平成22年8月以降の使用実績がなく、また今後も使用する見込みがないと判断したため、国土交通省大阪航空局へ届け出を行い、令和7年6月10日をもって廃止した。

3 学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム） の整備及び運用状況の概要

(1) 関係する決議の概要

理事の職務の執行が法令及び学校法人久留米大学寄附行為に適合すること並びに業務の適正を確保するための体制の整備に関し、「内部統制システム整備の基本方針」を定め（令和7年2月28日 理事会決議）、同方針に基づき適切に対応している。

(2) 体制整備及び運用状況の概要

① 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

理事会、評議員会等の重要会議の議事録その他理事の職務執行に係る情報については、本学寄附行為並びに文書取扱及び管理に関する学内の規則・規程等に基づき、適切に作成、保存及び管理している。

② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

学校法人運営に関わるリスクについては、本学リスク管理規程に基づき、各部門・部署におけるリスクの洗い出し及び評価並びにリスクの顕在化の予防及び対応準備等、必要な対策を講じている。

なお、令和7年度においては、本学リスク管理規程上のコンプライアンス・倫理違反に関する重大なリスク要因としてカスタマーハラスメントを位置付けた上で、リスクシナリオ調査を実施、その結果等を踏まえた「カスタマーハラスメント対応方針」を策定し、ホームページ等を通じて学内外に公表（令和8年4月1日付け）するとともに、本学教職員の名札様式の変更を行った。

また、本学リスク管理規程上のウイルス感染によるシステム障害に関するリスク要因を勘案し、標的型メール訓練及び同訓練に係るメールデータ証拠保全などの共同対処訓練を警察と共同で実施した。

③ 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

本学寄附行為並びに業務運営規則及び理事会決定に基づき、業務を執行する理事の担当業務を明確化し、事業運営の適切かつ迅速な推進を図るとともに、職務分掌及び決裁権限を明確にし、理事の職務執行の適正性を確保するとともに、機動的な業務執行と業務の有効性及び効率性を高めている。

④ 職員の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制

職員の職務執行が法令並びに寄附行為及び本法人の規則・規程等に適合することを確保するための体制を整備するため、コンプライアンス推進規程を定めるとともに、確固たる倫理観をもって事業活動等を行う組織風土を高めるために必要な措置を講じている。

⑤ 監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制等

監事は、理事会、評議員会等の重要会議への出席並びに重要書類の閲覧、審査及び質問等を通して、理事等の職務執行についての適法性及び妥当性に関する監査を行うとともに、理事長等との定期的な意見交換の場を設けるなどにより、事業の遂行と活動の健全な発展に向けて意見交換を図り、相互認識を深めている。

4 財務の概要

理事会・評議員会の議を経て確定した「令和7年度決算（貸借対照表・事業活動収支計算書・資金収支計算書）」について、以下のとおり概説する。

（1）決算の概要

① 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

資産の部合計は1,198億1千7百万円、負債の部合計は309億9千9百万円で、基本金と繰越収支差額を合計した純資産は、前年度比で本年度の基本金組入前当年度収支差額分の22億1千1百万円が減少して888億1千8百万円となった。

(単位:百万円)

科目	年度	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算
固定資産		97,678	96,502	97,923	100,267	98,559
流動資産		22,563	24,301	22,521	22,006	21,258
資産の部合計		120,241	120,803	120,444	122,273	119,817
固定負債		21,160	20,440	19,398	21,354	20,602
流動負債		9,101	9,096	9,173	9,890	10,397
負債の部合計		30,261	29,535	28,572	31,244	30,999
基本金		146,772	148,181	151,453	153,555	155,965
繰越収支差額		△ 56,792	△ 56,913	△ 59,581	△ 62,526	△ 67,147
純資産の部合計		89,980	91,268	91,872	91,029	88,818
負債及び純資産の部合計		120,241	120,803	120,444	122,273	119,817

※百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

イ) 財務比率（貸借対照表関係）の経年比較

比率名	年度	算式	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算
運用資産余裕比率		$\frac{\text{（運用資産－外部負債）}}{\text{経常支出（教育活動支出計＋教育活動外支出計）}}$	59.2%	61.2%	63.2%	59.9%	55.2%
流動比率		$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	247.9%	267.2%	245.5%	222.5%	204.5%
総負債比率		$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	25.2%	24.4%	23.7%	25.6%	25.9%
前受金保有率		$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	271.5%	329.6%	354.1%	355.1%	528.1%
基本金比率		$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.4%	99.2%	99.3%	98.8%	99.4%
積立率		$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	46.2%	46.3%	45.8%	46.0%	42.6%

② 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

令和7年度の対前年度比の主な増減は、収入の部では学生生徒等納付金、寄付金および医療収入が増となったものの、支出の部では補助金対象経費を含む教育研究経費や医療経費の増、賞与引当金繰入額の計上等により支出が収入を上回った。その結果、事業活動収入計の666億4千1百万円から、事業活動支出計の688億5千2百万円を差引いた基本金組入前当年度収支差額は、△22億1千1百万円となった。今後は安定した財務基盤確立に向け、本業である教育活動収支の安定的な確保・維持を目指し、基本理念、将来構想の実現に向けて取り組んでいく必要がある。

(単位:百万円)

	科目	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			決算	決算	決算	決算	決算	
教育活動収入	学生生徒等納付金		10,896	10,873	10,885	11,004	11,332	
	手数料		488	440	439	460	455	
	寄付金		1,025	951	1,776	751	1,000	
	経常費等補助金		7,785	6,789	4,146	3,890	4,712	
	付随事業収入		1,402	1,394	1,238	1,410	1,547	
	医療収入		41,106	40,285	41,758	42,751	45,187	
	雑収入		811	954	1,094	864	1,104	
	教育活動収入計		63,513	61,686	61,335	61,130	65,337	
	教育活動支出	人件費		28,620	28,851	28,981	28,631	29,302
		(給与)		27,412	27,812	27,579	27,516	26,633
(退職金)			2	1	13	18	6	
(賞与引当金繰入額)							1,061	
(退職給与引当金繰入額)			1,207	1,037	1,389	1,097	1,592	
(退任慰労引当金繰入額)							10	
教育研究経費			27,877	28,246	29,114	29,856	32,953	
(医療経費)			18,629	18,492	19,453	20,127	22,438	
管理経費			3,260	3,485	3,444	3,693	3,886	
徴収不能額等			45	58	46	34	66	
教育活動支出計		59,802	60,640	61,584	62,214	66,207		
教育活動収支差額			3,711	1,046	△ 249	△ 1,084	△ 871	
教育活動外収入	受取利息・配当金		357	378	422	509	662	
	その他の教育活動外収入		0	0	0	0	0	
	教育活動外収入計		357	378	422	509	662	
	教育活動外支出	借入金等利息		16	13	9	14	20
その他の教育活動外支出			0	0	0	0	0	
教育活動外支出計			16	13	9	14	20	
教育活動外収支差額			341	366	413	494	642	
経常収支差額			4,052	1,411	164	△ 590	△ 229	
特別収入	資産売却差額		80	6	85	8	178	
	その他の特別収入		475	322	447	265	464	
	特別収入計		555	327	532	273	643	
	特別支出	資産処分差額		506	409	86	526	1,486
		その他の特別支出		8	42	6	0	1,139
特別収支差額			40	△ 124	440	△ 253	△ 1,982	
基本金組入前当年度収支差額			4,092	1,288	604	△ 843	△ 2,211	
基本金組入額合計			△ 1,361	△ 1,408	△ 3,272	△ 2,102	△ 2,410	
当年度収支差額			2,731	△ 121	△ 2,668	△ 2,945	△ 4,621	
前年度繰越収支差額			△ 59,523	△ 56,792	△ 56,913	△ 59,581	△ 62,526	
基本金取崩額			0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額			△ 56,792	△ 56,913	△ 59,581	△ 62,526	△ 67,147	

(参考)

事業活動収入計	64,425	62,391	62,289	61,911	66,641
事業活動支出計	60,333	61,104	61,685	62,754	68,852

※()の数は内数

※百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

イ) 財務比率（事業活動収支関係）の経年比較

財務比率(事業活動収支関係)の経年比較

比率名	年度	算式	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算
人件費比率		$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	44.8%	46.5%	46.9%	46.4%	44.4%
教育研究経費比率		$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	43.6%	45.5%	47.1%	48.4%	49.9%
管理経費比率		$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.1%	5.6%	5.6%	6.0%	5.9%
事業活動収支差額比率		$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	6.4%	2.1%	1.0%	△1.4%	△3.3%
学生生徒等納付金比率		$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	17.1%	17.5%	17.6%	17.9%	17.2%
経常収支差額比率		$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	6.3%	2.3%	0.3%	△1.0%	△0.3%
教育活動収支差額比率		$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	5.8%	1.7%	△0.4%	△1.8%	△1.3%

③ 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

令和7年度の対前年度比の主な増減は、収入の部では学生生徒等納付金収入、寄付金収入および医療収入が増となり、支出の部では施設関係支出・設備関係支出は減となったが、補助金対象経費を含む教育研究支出、医療経費支出が増となった。

以上の結果、収入の部小計1, 196億3千2百万円、支出の部小計1, 161億1百万円、翌年度繰越支払資金は110億1千3百万円となった。

(単位:百万円)

科目	年度	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算
学生生徒等納付金収入		10,896	10,873	10,885	11,004	11,332
手数料収入		488	440	439	460	455
寄付金収入		1,032	957	1,824	798	1,192
補助金収入		8,159	7,041	4,486	3,988	4,933
資産売却収入		46,581	46,417	48,035	50,103	53,716
付随事業・収益事業収入		1,402	1,394	1,238	1,410	1,547
医療収入		41,106	40,285	41,758	42,751	45,187
受取利息・配当金収入		357	378	420	506	658
雑収入		886	978	1,058	826	1,019
借入金等収入		0	0	0	3,000	0
前受金収入		1,867	1,924	2,029	2,107	2,085
その他の収入		9,449	9,659	12,164	11,131	9,465
資金収入調整勘定		△ 11,436	△ 12,108	△ 11,017	△ 10,777	△ 11,956
小計		110,787	108,239	113,318	117,307	119,632
前年度繰越支払資金		5,522	5,070	6,340	7,186	7,482
収入の部合計		116,308	113,309	119,658	124,493	127,115
人件費支出		28,666	29,339	29,004	28,624	29,183
(退職金支出)		1,255	1,527	1,425	1,108	1,491
教育研究経費支出		23,700	24,044	24,966	25,801	29,238
(教育研究支出)		5,063	5,541	5,518	5,672	6,649
(医療経費支出)		18,637	18,503	19,447	20,129	22,588
管理経費支出		3,092	3,349	3,272	3,487	3,639
借入金等利息支出		16	13	9	14	20
借入金等返済支出		875	875	875	1,000	801
施設関係支出		1,151	957	2,660	2,803	1,262
設備関係支出		1,862	2,079	1,544	2,549	1,506
資産運用支出		52,412	46,832	49,964	53,280	49,728
その他の支出		4,474	5,132	5,171	5,292	6,015
資金支出調整勘定		△ 5,010	△ 5,652	△ 4,992	△ 5,839	△ 5,291
小計		111,238	106,969	112,472	117,011	116,101
翌年度繰越支払資金		5,070	6,340	7,186	7,482	11,013
支出の部合計		116,308	113,309	119,658	124,493	127,115

※()の数は内数

※百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

教育活動による資金収支差額は23億2千万円、施設設備等活動による資金収支差額は△37億7千3百万円、その他の活動による資金収支差額は49億8千5百万円で、支払資金の増減額は35億3千1百万円となり、翌年度繰越支払資金は110億1千3百万円となった。

(単位:百万円)

科目		年度	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算
教育活動による 資金収支	教育活動資金収入計		63,552	61,704	61,296	61,084	65,243
	教育活動資金支出計		55,457	56,693	57,240	57,911	62,032
	差引		8,094	5,011	4,057	3,173	3,211
	調整勘定等		△ 202	△ 813	1,653	△ 39	△ 891
	教育活動資金収支差額		7,892	4,198	5,709	3,134	2,320
施設設備等活動による 資金収支	施設整備等活動資金収入計		529	375	2,395	2,251	1,139
	施設整備等活動資金支出計		3,813	3,836	5,405	6,552	3,968
	差引		△ 3,284	△ 3,461	△ 3,010	△ 4,301	△ 2,829
	調整勘定等		79	686	△ 487	1,087	△ 944
	施設整備等活動資金収支差額		△ 3,205	△ 2,775	△ 3,497	△ 3,214	△ 3,773
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			4,687	1,423	2,212	△ 80	△ 1,454
その他の活動による 資金収支	その他の活動資金収入計		47,402	46,817	48,447	53,604	54,409
	その他の活動資金支出計		52,537	47,006	49,800	53,238	49,422
	差引		△ 5,135	△ 188	△ 1,353	367	4,987
	調整勘定等		△ 3	36	△ 13	9	△ 3
	その他の活動資金収支差額		△ 5,138	△ 152	△ 1,366	376	4,985
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)			△ 452	1,270	846	296	3,531
前年度繰越支払資金			5,522	5,070	6,340	7,186	7,482
翌年度繰越支払資金			5,070	6,340	7,186	7,482	11,013

※百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

ウ) 財務比率（教育活動資金収支差額比率）の経年比較

比率名	年度	算式	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算
教育活動資金収支差額比率		$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	12.4%	6.8%	9.3%	5.1%	3.6%

(2) その他

① 資産運用の状況

・運用目的について

本法人の資金運用の基本方針は、資金を安全かつ効率的に運用することにより、本法人の経営の効率的運営及び教育研究活動の発展に資することを目的とし、元本回収の確実性及び資金の流動性確保を前提とし、その範囲内において効率性を追求した運用を行うものとしている。

運用商品又は発行体は、原則として格付機関のうち、少なくとも1社以上において「A」相当以上の格付けを取得しており、どの格付機関においても「BB」相当以下の格付がないものとする。ただし、個別銘柄債券での運用ではなく、投資信託（ETFを含む）など幅広い分散投資を行う金融商品を通じた運用の場合は、この限りではない。

・運用目標・運用方針について

資金運用及び対象については、安全性、流動性、収益性等のバランスに配慮し、分散投資に努めるものとする。また、取引金融機関の選定については健全性に留意する。

基本ポートフォリオは、下記のとおり。

- ・公共債（国債・地方債・財投機関債等） 50%程度
- ・投資信託（ETF・REIT含む） 15%程度
- ・その他（国内社債・外国債・金銭信託等） 35%程度

有価証券の評価は、原則として取得価格によるものとする。ただし、時価が取得価格より概ね50%以上下落した場合又は概ね30%以上50%程度下落し、かつ、取得価格までの回復の見込みがない場合は、時価により評価する。時価評価額が取得価格より概ね50%以上下落した場合には、回復の見込み等経済・市場環境等を総合的に勘案し処分を検討するものとする。

・資産運用に関するガバナンス体制、運用体制について

資金運用の適切かつ円滑な運用を図るため、久留米大学資金運用委員会を置く。

・本年度の運用の概況について

ア) 総括表

(単位：円)

	当年度（令和8年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 異
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	6,903,357,854	7,921,015,075	1,017,657,221
（うち満期保有目的の債券）	(0)	(0)	(0)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	26,774,060,279	23,571,209,631	△ 3,202,850,648
（うち満期保有目的の債券）	(0)	(0)	(0)
合 計	33,677,418,133	31,492,224,706	△ 2,185,193,427
（うち満期保有目的の債券）	(0)	(0)	(0)
時価のない有価証券	9,000,000		
有価証券合計	33,686,418,133		

イ) 明細表

(単位：円)

種類	当年度（令和8年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 異
債券	28,262,152,657	25,080,790,638	△ 3,181,362,019
株式	21,406,434	41,455,225	20,048,791
投資信託	5,393,859,042	6,369,978,843	976,119,801
貸付信託	0	0	0
金銭信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	33,677,418,133	31,492,224,706	△ 2,185,193,427
時価のない有価証券	9,000,000		
有価証券合計	33,686,418,133		

② 学校債の状況 ・ 発行年度、本年度末残高、利率、償還期限等
なし

③ 寄付金の状況

単位：千円

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
特別寄付金	1,031,394	957,251	1,823,875	797,652	1,191,867
（第3号基本金）	112,360	9,560	764,962	22,402	209,369
（その他特別寄付金）	919,034	947,691	1,058,913	775,250	982,498
一般寄付金	193	129	148	256	207
現物寄付金	56,556	62,059	54,703	117,311	48,152
寄付金収入 合計	1,088,143	1,019,439	1,878,726	915,219	1,240,226

※千円単位未満四捨五入としているため、円単位と一致しない場合があります。

④ 補助金の状況

単位：千円

補助金収入内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常費補助金	1,978,029	2,110,064	2,184,000	1,999,220	2,076,725
（一般補助）	1,749,315	1,885,977	1,969,861	1,783,029	1,876,948
（特別補助）	228,714	224,087	214,139	216,191	199,777
国庫補助金(※)	582,991	839,451	980,932	705,255	1,662,709
新型コロナ対策(国)	364,349	40,533	4,063	0	0
地方補助金	788,060	762,561	876,142	1,283,130	1,193,515
新型コロナ対策(地)	4,445,569	3,288,862	440,376	0	0
補助金収入 合計	8,158,998	7,041,471	4,485,513	3,987,605	4,932,950

(※) 経常費補助金を除いた国庫補助金交付額です。

⑤ 収益事業の状況

私立学校法に規定する収益事業は行っていない。

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応策等

1. 経営状況の分析

令和7年度は、教育活動収支差額の改善を柱として全学全教職員が収支改善に取り組み、前年度との比較において、収入では授業料減免補助金の増により補助金および学納金、寄付金、医療収入などが増加となった。支出については、物価高により教育研究経費や医療経費が増加したほか、学校法人会計基準改正により前年度分の賞与引当金繰入額や退任慰労引当金繰入額を計上したことなどの要因により、事業活動収支差額はマイナスとなった。

2. 経営上の成果と課題

令和7年度は附設高等学校・中学校の周年事業として実施した特別教室棟の工事・移転作業や什器の設置が完了し、充実した教育・学習環境の提供が可能となった。

少子高齢化や人口減少、物価上昇に伴う支出増加および医療収支への影響等を踏まえ、将来に向けての事業準備を進めていくためにも、計画的な基本金の組入れ、教育活動収支差額の改善による経常収支の黒字安定への取り組みが必要である。

3. 今後の方針・対応策

教育・研究・医療および社会貢献の質向上を実現するためには、「安定した経営基盤の確立」は不可欠であり、財務基盤の強化に向けた取り組みを行うことが引き続き最重要課題となる。特色のある教育を推進することにより教育の質を確保し、研究のブランド化を進め外部資金の獲得強化を図る。医療分野では、医療センターの再編及び大学病院との機能統合を進め、人的資源および医療機器・設備を集約することで、より信頼性の高い高度かつ先進的な医療の提供を行う。さらに、地域連携の推進と国際社会の発展貢献など持続可能な社会の実現を視野に、創立100周年記念事業の準備と、基本理念および将来構想の実現に向けて取り組みを行う。

令和7年度
事業報告書
別冊

学校法人 久留米大学

目 次

1 教育に関する事項

(1) 入試状況	1
(2) 国家試験等状況	
社会福祉士・精神保健福祉士（文学部社会福祉学科）	10
公認心理師国家試験（心理学研究科）	11
医師国家試験（医学部医学科）	12
看護師国家試験（医学部看護学科）	12
保健師国家試験（医学部看護学科）	13
臨床検査技師国家試験（臨床検査専門学校）	13
認定看護師認定審査（認定看護師教育センター）	14
助産師国家試験（医学研究科修士課程看護学専攻）	15
(3) 求人及び就職状況	
大学（文系学部）	16
大学（医学部看護学科）・臨床検査専門学校	19
(4) 学位（博士及び修士）授与数	20
(5) 奨学金状況	23
(6) 教育助成補助	
久留米大学愛恵会基金	27
(7) 国際交流状況	28
(8) 附設高等学校大学合格状況	31

2 研究に関する事項

(1) 研究助成補助	
科学研究費助成事業	33
厚生労働科学研究費補助金	35
厚生労働科学研究費補助金以外の厚労省管轄の補助金	35
日本医療研究開発機構委託研究開発費（AMED）	36
久留米大学石橋学術振興基金	37
久留米大学学術研究振興基金	40
研究助成金受入状況	42
その他の研究助成補助等	43
(2) 受託研究受入状況	46
(3) 治験受入状況	48
(4) 学会主催状況	49
(5) 学術雑誌発行状況	54

3 診療に関する事項	
(1) 大学病院	
病院概要について	……………56
令和7年度患者数について	……………57
令和7年度ドクターヘリ運航状況について	……………57
(2) 医療センター	
病院概要について	……………58
令和7年度患者数について	……………59
4 補助金に関する事項	
(1) 補助金・寄付金関係	
補助金	……………60
寄付金	……………61
受配者指定寄付金受入状況	……………62
5 知的財産に関する事項	
(1) 出願状況	……………63
(2) 本学所有特許権	……………63

1 教育に関する事項

(1) 入試状況

() は女子内数

区 分		年 度		令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
比較文化研究科	前期博士課程 (秋期試験)	志願者		0 (0)	1 (1)	1 (1)
		受験者		0 (0)	1 (1)	1 (1)
		合格者		0 (0)	1 (1)	1 (1)
		入学者		0 (0)	1 (1)	1 (1)
	前期博士課程 (春期試験)	志願者		8 (2)	2 (0)	5 (3)
		受験者		8 (2)	2 (0)	5 (3)
		合格者		3 (1)	1 (0)	4 (2)
		入学者		3 (1)	1 (0)	4 (2)
	後期博士課程	志願者		0 (0)	0 (0)	1 (1)
		受験者		0 (0)	0 (0)	1 (1)
		合格者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		入学者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
心理学研究科	前期博士課程 (秋期試験)	志願者		22 (17)	16 (13)	17 (12)
		受験者		21 (16)	14 (13)	17 (12)
		合格者		9 (8)	7 (7)	13 (9)
		入学者		6 (5)	4 (4)	10 (6)
	前期博士課程 (春期試験)	志願者		6 (3)	11 (7)	12 (9)
		受験者		6 (3)	11 (7)	12 (9)
		合格者		1 (1)	5 (3)	4 (4)
		入学者		1 (1)	4 (3)	3 (3)
	後期博士課程	志願者		0 (0)	2 (1)	0 (0)
		受験者		0 (0)	2 (1)	0 (0)
		合格者		0 (0)	2 (1)	0 (0)
		入学者		0 (0)	2 (1)	0 (0)

() は女子内数

区 分			年 度		
			令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
ビ ジ ネ ス 研 究 科	修 士 課 程 (秋期試験)	志願者	3 (3)	1 (0)	1 (0)
		受験者	3 (3)	1 (0)	1 (0)
		合格者	3 (3)	1 (0)	0 (0)
		入学者	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	修 士 課 程 (春期試験)	志願者	2 (0)	3 (3)	4 (2)
		受験者	2 (0)	3 (3)	4 (2)
		合格者	1 (0)	1 (1)	2 (2)
		入学者	1 (0)	1 (1)	2 (2)
医 学 研 究 科	修 士 課 程	志願者	28 (20)	29 (23)	31 (27)
		受験者	28 (20)	29 (23)	31 (27)
		合格者	23 (17)	18 (12)	19 (15)
		入学者	20 (14)	18 (12)	17 (17)
	博 士 課 程 (春期試験)	志願者	22 (4)	19 (7)	28 (11)
		受験者	22 (4)	19 (7)	28 (11)
		合格者	22 (4)	18 (7)	28 (11)
		入学者	21 (4)	18 (7)	28 (11)
	博 士 課 程 (秋期試験)	志願者	3 (2)	3 (0)	()
		受験者	3 (2)	3 (0)	()
		合格者	3 (2)	3 (0)	()
		入学者	3 (2)	3 (0)	()
	大 学 院 計	志願者	94 (51)	87 (55)	100 (66)
		受験者	93 (50)	85 (55)	100 (66)
		合格者	65 (36)	57 (32)	71 (44)
		入学者	58 (30)	52 (29)	65 (42)

(注) 医学研究科博士課程については、令和5年度から秋期入学試験を実施している。
令和8年度は秋期入学者を含まない。

() は女子内数

区 分		年 度		令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
		志願者	受験者			
文 学 部	心 理 学 科	志願者		547 (329)	601 (329)	587 (319)
		受験者		540 (326)	584 (320)	575 (316)
		合格者		318 (213)	289 (185)	239 (155)
		入学者		107 (73)	113 (69)	89 (61)
	情 報 社 会 学 科	志願者		146 (67)	213 (61)	239 (72)
		受験者		144 (67)	213 (61)	238 (72)
		合格者		130 (61)	178 (55)	145 (50)
		入学者		50 (24)	68 (25)	61 (20)
	国 際 文 化 学 科	志願者		534 (315)	626 (301)	683 (365)
		受験者		516 (300)	621 (300)	671 (358)
		合格者		417 (251)	410 (226)	341 (201)
		入学者		141 (83)	148 (80)	129 (86)
	社 会 福 祉 学 科	志願者		158 (88)	186 (115)	227 (135)
		受験者		156 (87)	183 (114)	224 (134)
		合格者		117 (71)	122 (81)	128 (83)
		入学者		46 (24)	65 (46)	61 (40)
人 間 健 康 学 部	総 合 子 ど も 学 科	志願者		138 (84)	156 (95)	203 (97)
		受験者		138 (84)	153 (94)	200 (96)
		合格者		120 (74)	137 (87)	122 (79)
		入学者		49 (37)	56 (36)	60 (36)
	ス ポ ー ツ 医 科 学 科	志願者		265 (62)	265 (56)	404 (76)
		受験者		256 (61)	259 (55)	397 (72)
		合格者		190 (48)	178 (43)	130 (22)
		入学者		79 (22)	79 (12)	83 (14)

(注) 各年度、大学入試共通テストに係るものを含む。

() は女子内数

区 分		年 度		
		令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
法 学 部	志願者	900 (299)	1,001 (329)	1,193 (366)
	受験者	877 (291)	989 (327)	1,174 (362)
	合格者	772 (251)	803 (281)	827 (285)
	入学者	268 (85)	322 (96)	402 (139)
経 済 学 部	志願者	1,082 (252)	1,326 (261)	1,308 (248)
	受験者	1,066 (249)	1,306 (258)	1,287 (246)
	合格者	850 (199)	848 (183)	731 (169)
	入学者	309 (64)	348 (54)	303 (65)
商 学 部	志願者	873 (245)	961 (266)	956 (205)
	受験者	860 (244)	949 (265)	938 (202)
	合格者	670 (204)	659 (203)	553 (149)
	入学者	316 (99)	320 (99)	287 (78)
文 系 学 部 計	志願者	4,643 (1,741)	5,335 (1,813)	5,800 (1,883)
	受験者	4,553 (1,709)	5,257 (1,794)	5,704 (1,858)
	合格者	3,584 (1,372)	3,624 (1,344)	3,216 (1,193)
	入学者	1,365 (511)	1,519 (517)	1,475 (539)

(注) 1 各年度、大学入試共通テストに係るものを含む。

(注) 2 法学部については、平成27年度から入学試験を学部として実施している。

(注) 3 経済学部については、平成14年度から経済学科、文化経済学科の2学科となったが、各学科への学生の振分けは2年次進級時に行うため、入学試験は学部として実施している。

() は女子内数

区 分		年 度		令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
		志願者	受験者			
医 学 部	医 学 科	志願者		2,312 (837)	2,555 (929)	2,385 (869)
		受験者		2,122 (782)	2,393 (885)	2,246 (821)
		合格者		204 (79)	197 (82)	202 (72)
		入学者		116 (42)	115 (44)	115 (42)
	看 護 学 科	志願者		602 (567)	593 (546)	597 (539)
		受験者		590 (556)	586 (541)	587 (529)
		合格者		279 (269)	287 (270)	284 (259)
		入学者		120 (114)	130 (121)	133 (123)
	医 療 検 査 学 科	志願者		257 (214)	278 (222)	291 (249)
		受験者		254 (213)	274 (220)	285 (244)
		合格者		173 (148)	182 (143)	188 (164)
		入学者		77 (70)	85 (75)	87 (79)
医 学 部 計		志願者		3,171 (1,618)	3,426 (1,697)	3,273 (1,657)
		受験者		2,966 (1,551)	3,253 (1,646)	3,118 (1,594)
		合格者		656 (496)	666 (495)	674 (495)
		入学者		313 (226)	330 (240)	335 (244)
大 学 計		志願者		7,814 (3,359)	8,761 (3,510)	9,073 (3,540)
		受験者		7,519 (3,260)	8,510 (3,440)	8,822 (3,452)
		合格者		4,240 (1,868)	4,290 (1,839)	3,890 (1,688)
		入学者		1,678 (737)	1,849 (757)	1,810 (783)

(注) 1 各年度、大学入試共通テストに係るものを含む。

(注) 2 令和6年度より医学部医療検査学科を開設。

() は女子内数

区 分		年 度		令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
文 学 専 攻 科	心理学専攻	志願者		1 (0)	0 (0)	0 (0)
		受験者		1 (0)	0 (0)	0 (0)
		合格者		1 (0)	0 (0)	0 (0)
		入学者		1 (0)	0 (0)	0 (0)
	情報社会専攻	志願者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		受験者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合格者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		入学者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
	国際文化専攻	志願者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		受験者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合格者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		入学者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
	社会福祉専攻	志願者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		受験者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合格者		0 (0)	0 (0)	0 (0)
		入学者		0 (0)	0 (0)	0 (0)

() は女子内数

区 分		年 度	令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
法 学 専 攻 科	法 律 学 専 攻	志願者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		受験者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合格者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		入学者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	国 際 政 治 学 専 攻	志願者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		受験者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合格者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		入学者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
経 済 学 専 攻 科	経 済 学 専 攻	志願者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		受験者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合格者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		入学者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
商 学 専 攻 科	商 学 専 攻	志願者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		受験者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合格者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		入学者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
専 攻 科 計		志願者	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		受験者	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		合格者	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		入学者	1 (0)	0 (0)	0 (0)

() は女子内数

区 分		年 度		令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
留 学 生 別 科	4 月 入 学	志願者		20 (14)	14 (11)	17 (11)
		受験者		20 (14)	14 (11)	17 (11)
		合格者		10 (6)	9 (7)	7 (4)
		入学者		10 (6)	9 (7)	6 (4)
	秋 期 入 学	志願者		39 (22)	29 (20)	
		受験者		39 (22)	28 (19)	
		合格者		22 (14)	20 (12)	
		入学者		21 (14)	19 (12)	
別 科 計	志願者		59 (36)	14 (11)	17 (11)	
	受験者		59 (36)	14 (11)	17 (11)	
	合格者		32 (20)	9 (7)	7 (4)	
	入学者		31 (20)	9 (7)	6 (4)	

(注) 留学生別科については、令和8年10月1日以降の入学生を対象とした学生募集を停止。

() は女子内数

区 分 \ 年 度		令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
		附 設 高 等 学 校	志願者	404 (166)
受験者	396 (164)		257 (113)	285 (136)
合格者	94 (31)		102 (26)	89 (35)
入学者	52 (24) 159 (57)		48 (14) 159 (65)	49 (16) 155 (55)
附 設 中 学 校	志願者	849 (272)	654 (283)	604 (280)
	受験者	796 (260)	617 (272)	568 (270)
	合格者	233 (86)	211 (67)	217 (89)
	入学者	171 (70)	169 (52)	172 (67)

(注) 附設高等学校入学者欄の下段の数字は、中学からの進学数(外数)を示す。

() は女子内数

区 分 \ 年 度		令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
		認 定 看 護 師 教 育 課 程	志願者	83 (75)
受験者	81 (73)		82 (74)	59 (49)
合格者	55 (49)		44 (41)	49 (40)
入学者	54 (49)		44 (41)	45 (38)

(2) 国家試験等状況

社会福祉士国家試験（文学部社会福祉学科）

区分		開催年		
		令和6年	令和7年	令和8年
受験者	新卒	43	45	48
	既卒	45	35	33
	合計	88	80	81
合格者	新卒	33	36	39
	既卒	22	11	16
	合計	55	47	55
合格率(%)	新卒	76.7	80.0	81.3
	既卒	48.9	31.4	48.5
	合計	62.5	58.8	67.9
	全国平均	58.1	56.3	60.7

精神保健福祉士国家試験（文学部社会福祉学科）

区分		開催年		
		令和6年	令和7年	令和8年
受験者	新卒	12	17	14
	既卒	2	0	2
	合計	14	17	16
合格者	新卒	12	17	13
	既卒	2	0	1
	合計	14	17	14
合格率(%)	新卒	100.0	100.0	92.9
	既卒	100.0	-	50.0
	合計	100.0	100.0	87.5
	全国平均	70.4	70.7	78.2

公認心理師国家試験（心理学研究科）

開催年 区分		令和6年		令和7年		令和8年	
		区分A	区分E	区分A	区分E	区分A	区分E
受験者	新卒	6	2	7	1	6	0
	既卒	0	2	0	1	2	0
	合計	6	4	7	2	8	0
合格者	新卒	5	2	5	1	5	0
	既卒	0	1	0	0	1	0
	合計	5	3	5	1	6	0
合格率 (%)	新卒	83.3	100.0	71.4	100.0	83.3	-
	既卒	-	50.0	-	-	50.0	-
	合計	83.3	75.0	71.4	50.0	75.0	-
	全国平均	90.1	57.4	77.2	36.1	67.7	30.8

区分A

学部・大学院ともに特例期間後のカリキュラムを受講した者

区分E

学部在学中は特例期間であり、大学院では特例期間後のカリキュラムを受講した者

医師国家試験（医学部医学科）

回 数 (開催年)		第118回	第119回	第120回
		(令和6年)	(令和7年)	(令和8年)
受 験 者	新 卒	107	115	103
	既 卒	12	14	22
	合 計	119	129	125
合 格 者	新 卒	97	97	97
	既 卒	4	10	16
	合 計	101	107	103
合 格 率 (%)	新 卒	90.7	84.3	94.6
	既 卒	33.3	71.9	72.7
	合 計	84.9	82.9	90.4
	全国平均	92.4	92.3	91.6

看護師国家試験（医学部看護学科）

回 数 (開催年)		第113回	第114回	第115回
		(令和6年)	(令和7年)	(令和8年)
受 験 者	新 卒	115	111	116
	既 卒	0	1	2
	合 計	115	112	118
合 格 者	新 卒	114	110	115
	既 卒	0	1	1
	合 計	114	111	116
合 格 率 (%)	新 卒	99.1	99.1	99.1
	既 卒	-	100.0	50.0
	合 計	99.1	99.1	98.3
	全国平均	87.8	90.1	88.3

保健師国家試験（医学部看護学科）

回数 (開催年)		第110回	第111回	第112回
		(令和6年)	(令和7年)	(令和8年)
受験者	新卒	39	39	42
	既卒	0	0	0
	合計	39	39	42
合格者	新卒	39	39	41
	既卒	0	0	0
	合計	39	39	41
合格率 (%)	新卒	100.0	100.0	97.6
	既卒	-	-	-
	合計	100.0	100.0	97.6
	全国平均	95.7	94.0	87.1

臨床検査技師国家試験（臨床検査専門学校）

回数 (開催年)		第70回	第71回	第72回
		(令和6年)	(令和7年)	(令和8年)
受験者	新卒	52	36	31
	既卒	1	2	0
	合計	53	38	31
合格者	新卒	51	36	31
	既卒	0	1	0
	合計	51	37	31
合格率 (%)	新卒	98.1	100.0	100.0
	既卒	-	50.0	-
	合計	96.2	97.4	100.0
	全国平均	76.8	84.6	84.7

認定看護師認定審査（認定看護師教育センター）

区分		回数 (開催年)	第31回 (令和5年)	第32回 (令和6年)	第33回 (令和7年)
			既卒のみA課程	B課程	課程
認定 看護師 教育 課程	がん 薬物 療法 分野	受験者	10 (0)	17 (0)	13 (0)
		合格者	10 (0)	17 (0)	13 (0)
		合格率	100.0	100.0	100.0
		全国平均	100.0	100.0	100.0
	緩和 ケア 分野	受験者	31 (1)	30 (0)	32 (0)
		合格者	31 (1)	29 (0)	32 (0)
		合格率	100.0	96.7	100.0
		全国平均	100.0	95.1	97.0
	がん 放射 線 療法 看護 分野	受験者	4 (0)	9 (0)	9 (0)
		合格者	4 (0)	9 (0)	9 (0)
		合格率	100.0	100.0	100.0
		全国平均	100.0	94.4	100.0

(注) 認定看護師は日本看護協会が認定する資格。修了年度の翌年度に認定審査を受験する（例：令和7年度修了者は令和8年実施の審査を受験する）。
 令和8年の審査日程は10月。
 括弧内の数字は既卒の人数で内数。
 A課程（特定行為研修なし）
 B課程（特定行為研修あり）

助産師国家試験（医学研究科修士課程看護学専攻）

区 分		回数 (開催年)	第107回 (令和6年)	第108回 (令和7年)	第109回 (令和8年)
受 験 者	新 卒		8	7	8
	既 卒		1	0	0
	合 計		9	7	8
合 格 者	新 卒		8	7	8
	既 卒		1	0	0
	合 計		9	7	8
合 格 率 (%)	新 卒		100.0	100.0	100.0
	既 卒		100.0	-	-
	合 計		100.0	100.0	100.0
	全国平均		98.8	98.9	99.7

(3) 求人及び就職状況

大学（文系学部・医学部看護学科）

① 求人状況

文学部・人間健康学部・法学部・経済学部・商学部

規 模 \ 年 度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		社 数	比率%	社 数	比率%	社 数	比率%
求 人 企 業	大(従業員 500名以上)	2,786	27.3	3,386	27.0	3,379	26.8
	中(" 100~499名)	4,215	41.3	5,079	40.5	5,244	41.5
	小(" 99名以下)	3,205	31.4	4,067	32.5	4,010	31.7
	合 計	10,206	100.0	12,532	100.0	12,633	100.0

② 就職状況

文学部

規 模 \ 年 度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		人 員	比率%	人 員	比率%	人 員	比率%	
就 職 希 望 者	就 職 者	大(従業員 500名以上)	111	43.9	99	43.5	114	48.8
		中(" 100~499名)	78	30.8	58	25.6	63	26.9
		小(" 99名以下)	58	22.9	56	24.7	48	20.5
	公 務 員	6	2.4	14	6.2	9	3.8	
	小 計	253	100.0	227	100.0	234	100.0	
未 就 職 者	未 就 職 者	11		13		12		
	計	264		240		246		
自 家 営 業		1		2		0		
進 学		9		5		14		
そ の 他		35		30		25		
合 計 (卒 業 者 数)		309		277		285		

(注)「その他」は、次年度に公務員・教員へ応募する者、資格を取得する者、フリーター等を示す。

人間健康学部

規 模 \ 年 度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			人 員	比率%	人 員	比率%	人 員	比率%
就 職 希 望 者	就 職 者	大(従業員 500名以上)	31	27.7	12	13.2	27	27.8
		中(" 100~499名)	24	21.4	13	14.3	20	20.6
		小(" 99名以下)	46	41.1	61	67.0	45	46.4
		公 務 員	11	9.8	5	5.5	5	5.2
		小 計	112	100.0	91	100.0	97	100.0
	未 就 職 者	4		4		5		
	計	116		95		102		
自 家 営 業			0		1		0	
進 学			0		4		4	
そ の 他			9		10		1	
合 計 (卒 業 者 数)			125		110		107	

(注)「その他」は、次年度に公務員・教員へ応募する者、資格を取得する者、フリーター等を示す。

法学部

規 模 \ 年 度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			人 員	比率%	人 員	比率%	人 員	比率%
就 職 希 望 者	就 職 者	大(従業員 500名以上)	111	47.2	92	41.1	97	43.3
		中(" 100~499名)	49	20.9	54	24.1	52	23.2
		小(" 99名以下)	44	18.7	46	20.5	34	15.2
		公 務 員	31	13.2	32	14.3	41	18.3
		小 計	235	100.0	224	100.0	224	100.0
	未 就 職 者	39		19		7		
	計	274		243		231		
自 家 営 業			1		0		0	
進 学			4		3		2	
そ の 他			17		33		42	
合 計 (卒 業 者 数)			296		279		275	

(注)「その他」は、次年度に公務員・教員へ応募する者、資格を取得する者、フリーター等を示す。

経済学部

規 模		年 度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			人 員	比率%	人 員	比率%	人 員	比率%
就 職 希 望 者	就 職	大(従業員 500名以上)	118	49.4	123	56.2	109	50.3
		中(" 100~499名)	68	28.5	58	26.5	61	28.1
		小(" 99名以下)	35	14.6	29	13.2	32	14.7
	者	公 務 員	18	7.5	9	4.1	15	6.9
		小 計	239	100.0	219	100.0	217	100.0
	未 就 職 者		9		12		3	
	計		248		231		220	
自 家 営 業		2		1		0		
進 学		0		0		2		
そ の 他		22		21		22		
合 計 (卒 業 者 数)		272		253		244		

(注)「その他」は、次年度に公務員・教員へ応募する者、資格を取得する者、フリーター等を示す。

商学部

規 模		年 度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			人 員	比率%	人 員	比率%	人 員	比率%
就 職 希 望 者	就 職	大(従業員 500名以上)	114	49.7	120	55.3	115	56.9
		中(" 100~499名)	62	27.1	56	25.8	53	26.2
		小(" 99名以下)	45	19.7	37	17.1	30	14.9
	者	公 務 員	8	3.5	4	1.8	4	2.0
		小 計	229	100.0	217	100.0	202	100.0
	未 就 職 者		11		7		2	
	計		240		224		204	
自 家 営 業		0		0		0		
進 学		4		1		0		
そ の 他		13		19		21		
合 計 (卒 業 者 数)		257		244		225		

(注)「その他」は、次年度に公務員・教員へ応募する者、資格を取得する者、フリーター等を示す。

医学部看護学科

区 分		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
卒 業 者 数			1 1 5	1 1 2	1 1 5
就 職 ・ 進 学 状 況	本 学 病 院		4 8	5 4	3 4
	他 大 学 病 院		3 9	1 6	3 6
	そ の 他 の 病 院		2 1	2 6	3 1
	保 健 師		2	4	4
	養 護 教 諭		0	0	0
	そ の 他		1	3	3
	進 学		4	9	7

臨床検査専門学校

区 分		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
卒 業 者 数			5 2	3 6	3 2
就 職 状 況	本学病院等		6	3	1
	他大学病院		1	0	2
	その他の病院		3 1	1 9	1 4
	そ の 他		1 4	8	8

(4) 学位（博士及び修士）授与数

(単位：人)

区 分		年 度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
比較文化研究科	修 士	(文 学)		1	1	0
		(法 学)		0	0	0
		(経済学)		0	1	0
		(商 学)		0	0	0
		(学 術)		1	2	2
		(政治学)		0	0	0
		(社会学)		0	0	0
		(保健福祉学)		1	1	0
		合 計		3	5	2
	博 士	(文 学)	甲 号	0	0	0
			乙 号	0	0	0
		(法 学)	甲 号	0	0	0
			乙 号	0	0	0
		(経済学)	甲 号	0	1	0
			乙 号	0	0	0
		(学 術)	甲 号	0	0	0
			乙 号	0	0	0
		(政治学)	甲 号	0	0	0
			乙 号	0	0	0
		(社会学)	甲 号	0	0	0
乙 号	0		0	0		
(保健福祉学)	甲 号	3	1	0		
	乙 号	0	0	0		
(商 学)	甲 号	0	0	0		
	乙 号	0	0	0		
合 計		3	2	0		

(単位：人)

区 分		年 度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
心理学研究科	修士	(臨床心理学)		10	12	7
		(心理学)		0	1	0
		合 計		10	13	7
	博士	(心理学)	甲 号	0	1	0
			乙 号	0	0	0
		合 計		0	1	0

(単位：人)

区 分		年 度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
ビジネス研究科	修士	(商 学)		1	1	0
		(経営学)		1	2	5
		合 計		2	3	5

(単位：人)

区 分		年 度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
医学研究科	修士	(医科学)		12	9	7
		(看護学)		12	17	11
		合 計		24	26	18
	博士	(医学)	甲 号	14	17	13
			乙 号	25	33	9
		(医学バイオ統計学)	甲 号	2	1	2
			乙 号	0	0	0
		(看護学)	甲 号	4	0	2
			乙 号	0	0	0
	合 計		45	51	26	

授与者総数

(単位：人)

学位規則改正前			学位規則改正後				
学術修士			修士	(文学)	202		
				(社会学)	8		
				(保健福祉学)	46		
				(法学)	135		
				(政治学)	19		
				(経済学)	176		
				(商学) ※1	44		
				(学術)	135		
				(臨床心理学)	347		
				(心理学)	48		
				(商学) ※2	33		
				(経営学)	89		
				(医科学)	342		
				(看護学)	133		
				博士	(文学)	甲号	33
						乙号	12
					(法学)	甲号	1
						乙号	7
					(政治学)	甲号	2
						乙号	1
					(経済学)	甲号	16
						乙号	3
					(学術)	甲号	5
乙号						3	
(社会学)					甲号	1	
					乙号	0	
(保健福祉学)					甲号	18	
					乙号	0	
(心理学)					甲号	15	
					乙号	4	
(商学)					甲号	1	
					乙号	0	
医学博士					甲号	629	博士
	乙号	1,408					
	(医学バイオ統計学)	甲号	38				
		乙号	1				
		(看護学)	甲号	9			
			乙号	0			
乙号	1,695						

(注) 平成3年7月1日から国の学位規則が一部改正され、修士及び博士の種類を廃止し、専攻分野の名称を付記することとなった。

※1 比較文化研究科(商学) ※2 ビジネス研究科(商学)

(5) 奨学金状況

令和7年度久留米大学奨学金及び日本学生支援機構奨学金新規採用者一覧

(単位：人)

学 部	学 年	久留米大学 奨学金	日本学生支援機構奨学金		
			一種奨学金	二種奨学金	給付奨学金
文 学 部	1 年 生	0【0】	113(94)	118(95)	162(79)
	2年生以上	0【0】	8(0)	10(0)	129(0)
	小 計	0【0】	121(94)	128(95)	291(79)
人間健康学部	1 年 生	0【0】	39(36)	37(31)	51(22)
	2年生以上	0【0】	1(0)	1(0)	47(0)
	小 計	0【0】	40(36)	38(31)	98(22)
法 学 部	1 年 生	0【0】	74(67)	95(71)	116(51)
	2年生以上	1【0】	4(0)	6(0)	89(0)
	小 計	1【0】	78(67)	101(71)	205(51)
経 済 学 部	1 年 生	0【0】	91(82)	116(96)	122(66)
	2年生以上	0【0】	1(0)	8(0)	85(0)
	小 計	0【0】	92(82)	124(96)	207(66)
商 学 部	1 年 生	0【0】	81(76)	94(81)	114(48)
	2年生以上	0【0】	5(0)	9(0)	93(0)
	小 計	0【0】	86(76)	103(81)	207(48)
医 学 部 医 学 科	1 年 生	3【0】	1(0)	4(0)	25(1)
	2年生以上	13【0】	1(0)	1(0)	69(0)
	小 計	16【0】	2(0)	5(0)	94(1)
医 学 部 看 護 学 科	1 年 生	0【0】	35(29)	44(39)	46(21)
	2年生以上	0【0】	2(0)	5(0)	64(0)
	小 計	0【0】	37(29)	49(39)	110(21)
医 学 部 医 療 検 査 学 科	1 年 生	0【0】	20(19)	17(14)	28(7)
	2年生以上	0【0】	1(0)	0(0)	14(0)
	小 計	0【0】	21(19)	17(14)	42(7)
大 学 計	1 年 生	3【0】	454(403)	525(427)	664(295)
	2年生以上	14【0】	23(0)	40(0)	590(0)
	小 計	17【0】	477(403)	565(427)	1,254(295)

【 】は給付奨学生数 ()内は予約奨学生数

(単位：人)

学 部	学 年	久留米大学 奨 学 金	日本学生支援機構奨学金	
			一種奨学金	二種奨学金
比較文化研究科	前期博士課程	0	0	0
	後期博士課程	0	0	0
心理学研究科	前期博士課程	0	2	1
	後期博士課程	0	1	0
ビジネス研究科	修 士 課 程	0	0	0
医学研究科	修 士 課 程	0	1	0
	博 士 課 程	0	3	1
大 学 院 計		0	7	2

令和7年度外国人留学生奨学金等受給一覧

上段(人数)、下段(支給額:単位千円)

奨学金名	大 学 院		学 部				留学生別科	合 計
	正規生	研究生	正規生	交換/ 協定校 留学生	研修 派遣	研究生		
JASSO 海外留学支援制度(協定受入) 月額: 80,000 円								
JASSO 海外留学支援制度(協定派遣) 月額: 110,000 円(甲) 90,000 円(乙) 80,000 円(丙) 70,000 円(丙:旧制度)				4 乙: 1,120 丙: 800				4 乙: 1,120 丙: 800
文部科学省国費外国人留学生 (学納金含む) 月額: 145,000 円(大学院【博士】)								
久留米大学大学院私費外国人留学生 奨学金 月額: 30,000 円(前期) 60,000 円(後期)	修士: 5 1,800							修士: 5 1,800
文部科学省私費外国人留学生 学習奨励費 月額: 48,000 円(学部・別科) 48,000 円(大学院)	12 か月: 1 6 か月: 1 864							12 か月: 1 6 か月: 1 864
久留米留学生奨学金 (久留米観光コンベンション国際交流協会) 年額: 100,000 円 【別科】年 10,000 円			25 2,500				3 30	28 2,530
(財)福岡県国際交流センター 留学生奨学金(里親含む) 月額: 24,000 円								
(財)ロータリー米山奨学会奨学金 月額: 100,000 円(学部) 140,000 円(大学院)								
(財)平和中島財団外国人留学生 奨学金 月額: 100,000 円(学部) 100,000 円(大学院)								
公益信託 椎木正和記念アジア 留学生奨学基金 月額: 50,000 円(大学院)								
朝鮮奨学金 月額: 25,000 円(学部) 40,000 円(修士) 70,000 円(博士)								
合 計	7 2,664		25 2,500	4 1,920			3 30	39 7,114

令和7年度久留米市一時金補助等受給一覧

上段（人数）、下段（支給額：単位 円）

奨学金名	大学院		学部			留学生別科	合計
	正規生	研究生	正規生	交換留学生	研究生		
国民健康保険一部補助 一時金：4,400円			1			15	16
			4,400			66,000	70,400
住宅入居支度金一部補助 一時金：20,000円							

(6) 教育助成補助

久留米大学愛恵会基金

基金 60,000千円(令和8年3月31日現在)

[収入の部]

(単位:千円)

科目	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
前年度繰越金	344	634	1,009
資金運用収入	290	375	460
合計	634	1,009	1,469

[支出の部]

(単位:千円)

科目	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
愛恵会助成金	0	0	0
次年度繰越金	634	1,009	1,469

[参考]

(単位:千円)

科目	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
給付型奨学金 交付額	0	0	0
うち、愛恵会 助成金による 充当額	0	0	0

※平成30年度より久留米大学給付奨学金規程に基づく奨学費への充当を目的として、愛恵会助成金の交付開始。

(7) 国際交流状況

① 外国の大学等との交流状況

(単位：人)

交流大学名	国名	協定締結年月日	協定の内容	令和7年度の交流活動(学生数)				合計
				研修		交換・協定校留学		
				派遣	受入れ	派遣	受入れ	
南開大学	中国	H9.5.20	基本協定	/	0	2	0	2
吉林大学	中国	H11.6.8	基本協定	/	0	0	0	0
		H12.4.18	語学研修協定	/	0	0	0	
ニューキャッスルアポンタイン大学	イギリス	H10.9.7	基本協定(留学)(語学研修)	/	0	0	0	0
バススパ大学	イギリス	H11.2.26	基本協定(留学)	/	0	0	0	0
ヨハネスガートンハルム大学(マインツ大学)	ドイツ	H11.12.2	語学研修協定	/	0	/	/	0
ストラスブール大学	フランス	H13.2.9	語学研修協定	/	0	/	/	0
北京第二外国語学院	中国	H12.12.26	基本協定	/	0	0	0	0
南台科技大学	台湾	H13.6.20	基本協定学生交換協定	0	0	0	1	1
呉鳳科技大学	台湾	H19.12.17	基本協定	/	0	0	0	0
		H25.2.22	学生交換協定	/	0	0	0	
ビクトリア大学	カナダ	H20.9.16	語学研修協定	2	0	0	0	2
翰林大学	韓国	H20.2.18	基本協定(学生交換)(語学研修)	0	0	0	1	1
建陽大学	韓国	H21.1.14	基本協定	0	10	1	0	11
梨花女子大学	韓国	H22.8.13	基本協定	/	0	0	0	2
		H22.8.6	語学研修協定	2	0	0	0	
		H25.2.22	学生交換協定	/	0	0	0	
アケイディア大学	カナダ	H23.4.7	基本協定留学協定	/	15	0	0	15
チェンマイ大学	タイ	H23.6.14	基本協定	/	0	0	0	0
ランカシャー大学	イギリス	H25.1.31	学生交換協定	/	0	0	1	1
銘伝大学	台湾	H26.7.8	基本協定	/	22	0	2	24
ハノイ大学	ベトナム	H27.6.13	基本協定	0	0	0	0	0
ミラノ・ビッコカ大学	イタリア	H27.9.21	基本協定	/	0	/	/	0
カイロ大学	エジプト	H28.11.3	基本協定	/	0	/	/	0
浙江工業大学之江学院	中国	H29.12.26	基本協定	/	0	/	/	0
ブラウン大学	アメリカ	H30.1.1	基本協定	0	3	0	0	3
スワラス・マレット大学	インドネシア	H30.3.19	基本協定	/	0	/	/	0

交流大学名	国名	協定締結年月日	協定の内容	令和7年度の交流活動（学生数）				合計
				研修		交換・協定校留学		
				派遣	受入れ	派遣	受入れ	
スリジャヤワルダナプラ大学	スリランカ	H30.11.27	基本協定	/	0	/	/	0
サラワク大学	マレーシア	H31.3.8	基本協定	0	0	/	/	0
グナダルマ大学	インドネシア	R1.12.5	基本協定	/	0	/	/	0
国立台北商業大学	台湾	R2.3.12	基本協定	/	0	/	/	0
上海財経大学	中国	R3.5.5	基本協定 学生交換協定	/	0	1	0	1
ノーザンケンタッキー大	アメリカ	R4.9.7	基本協定 学生交換協定	/	0	2	0	2
長庚大学	台湾	R5.2.4	基本協定	0	5	/	/	5
釜慶大学	韓国	R5.7.5	基本協定 学生交換協定	3	0	0	0	3
東呉大学	台湾	R5.12.7	基本協定 学生交換協定	/	/	0	0	0
サザンクロス大学	オーストラリア	R5.12.19	基本協定	/	/	0	0	0
トウンクアブドゥラマン大学	マレーシア	R6.1.29	基本協定	22	0	1	0	23
全南大学	韓国	R6.5.10	基本協定 学生交換協定	1	0	0	0	1
湖南大学	韓国	R7.2.5	基本協定	0	0	/	/	0
パッサウ大学	ドイツ	R7.6.23	基本協定	0	0	/	/	0
シーナカリンウィロート大学	タイ	R7.8.7	基本協定	0	0	/	/	0
バイズウォーターパリ校	フランス	—	—	0	0	/	/	0
ウィーン大学	オーストリア	—	—	2	0	/	/	2
エンデラン大学	フィリピン	—	—	2	0	/	/	2
合計				34	55	7	5	101

(注) 斜線 … 活動無し、0 … 本年度該当無し

※ニューキャッスルアポンタイン大学、バススパ大学への留学については、両大学の受け入れ制度変更に伴い、協定校留学のみ可能。

※翰林大学は商学部との交流。

※建陽大学については、“語学研修派遣・受入れ”は“医学部または看護学科学生短期研修派遣・受入れ”と読み替える。

※バイズウォーターパリ校は大学ではなく、フランス語学研修の研修先。

※ドイツ語学研修は、平成27年度からマインツ大学ではなく、オーストリア・ウィーン大学で実施（協定校ではない）。

※英語圏語学研修は、令和5年度からエンデラン大学でも実施（協定校ではない）。

② 外国人留学生数 (令和7年5月1日現在)

(単位:人)

課 程		国 名										
		中国	韓国	台湾	パキスタ	タイ	ベトナム	スリランカ	アメリカ	イギリス	合計	
学 部	文 学 部	11										11
	法 学 部	8				5						13
	経 済 学 部	3				1		3				7
	商 学 部	14				2						16
	文 学 部 交 換 留 学 生			2					1			3
	法 学 部 交 換 留 学 生	1										1
	経 済 学 部 交 換 留 学 生											
	商 学 部 交 換 留 学 生											
大 学 院	比較文化研究科	4										4
	心理学研究科											
	ビジネス研究科	4										4
	医学研究科	1										1
留 学 生 別 科		14				18						32
学 部 研 究 生		1										1
大 学 院 研 究 生												
専 攻 科												
合 計		61		2		26		3		1		93

(8) 附設高等学校大学合格状況

(単位：人)

年 度 大学名		令 和 5 年 度	令 和 6 年 度	令 和 7 年 度
		国 立	東 京	3 2
東京科学※	7		2	5
筑 波	3		3	0
一 橋	0		2	5
京 都	1 0		1 0	8
大 阪	7		5	7
広 島	4		3	1
山 口	3		0	2
九 州	2 5		2 7	3 8
佐 賀	1 2		7	8
長 崎	6		3	4
熊 本	1 0		5	9
大 分	0		0	3
鹿 児 島	1		2	0
宮 崎	0	1	2	
九州工業	0	1	2	
そ の 他	8	8	6	
国 立 計		1 2 8	1 1 7	1 4 3
公 立	国際教養大学	0	0	0
	そ の 他	3	2	3
公 立 計		3	2	3

※東京科学大学は、東京工業大学と東京医科歯科大学が令和6年度より統合されたもの。
令和5年度の数字は、東京工業大学の合格者数。

(単位：人)

年 度 大学名		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
		大 学 校	防 衛 防 衛 医 そ の 他	0 3 1
大 学 校 計		4	9	7
私 立	早 稻 田	27	36	19
	慶 應 義 塾	21	10	12
	中 央	9	9	5
	明 治	5	19	15
	立 教	0	4	0
	東 京 理 科	11	13	26
	法 政	1	11	3
	同 志 社	4	14	10
	立 命 館	11	13	2
	青 山 学 院	2	3	1
	産 業 医	0	0	0
	西 南 学 院	0	3	1
	福 岡	7	6	9
	久 留 米	7	3	5
そ の 他	26	38	42	
私 立 計		131	182	150
総 計		266	310	303

2 研究に関する事項

(1) 研究助成補助

科学研究費助成事業

(単位:千円)

学 部 研 究 所	令 和 6 年 度				令 和 7 年 度			
	申請	採 択			申請	採 択		
	件数	件数	金 額	内、間接経費	件数	件数	金 額	内、間接経費
文 学 部	21	13	17,410	1,770	22	10	15,603	2,520
人 間 健 康 学 部	8	6	8,582	930	10	3	3,474	360
法 学 部	6	3	3,707	330	3	0	0	0
経 済 学 部	8	6	9,009	900	8	5	6,581	480
商 学 部	7	5	4,025	600	6	3	2,111	390
医 学 部	298	189	331,851	46,733	272	157	282,823	39,750
比 較 文 化 研 究 科	0	0	0	0	0	0	0	0
比 較 文 化 研 究 所	1	0	0	0	2	1	390	90
国 際 交 流 セ ン タ ー	0	0	0	0	0	0	0	0
外 国 語 教 育 研 究 所	2	2	1,712	180	1	1	1,396	180
医 学 研 究 科	1	1	1,560	360	1	1	1,922	360
分 子 生 命 科 学 研 究 所	11	4	7,202	1,230	11	5	8,788	1,170
循 環 器 病 研 究 所	1	1	4,960	1,110	2	2	8,737	1,470
先 端 癌 治 療 研 究 セ ン タ ー	1	1	2,810	300	1	1	2,649	270
高 次 脳 疾 患 研 究 所	7	5	9,750	780	5	3	8,090	630
バ イ オ 統 計 セ ン タ ー	7	3	2,226	390	4	1	2,088	270
皮 膚 細 胞 生 物 学 研 究 所	1	0	0	0	1	0	100	0
DI推進室(学長直属)	2	1	327	0	0	0	0	0
保 健 管 理 セ ン タ ー	4	4	2,542	180	4	3	6,183	1,260
認 定 看 護 師 教 育 セ ン タ ー	0	0	0	0	0	0	0	0
臨 床 検 査 専 門 学 校	0	0	0	0	0	0	0	0
学 長 直 属 (御 井)	0	0	0	0	0	0	0	0
基 盤 教 育 研 究 セ ン タ ー	1	0	0	0	0	0	0	0
法 人	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	387	244	407,673	55,793	353	196	350,935	49,200

注1 前年度からの継続分、年度途中転出入者、年度途中研究廃止者、産休・育休延長者を含む。

講座等	年度	令和6年度				令和7年度			
		申請 件数	採 択			申請 件数	採 択		
			件数	金額	内、間接経費		件数	金額	内、間接経費
生物学		0	0	0	0	0	0	0	
物理学		2	2	1,532	330	2	2,288	390	
化学		3	2	2,863	600	3	2,404	540	
解剖学(肉眼・臨床解剖)		4	2	3,799	600	5	2,896	360	
解剖学(顕微解剖・生体形成)		8	5	10,913	1,740	7	12,647	1,740	
生理学(脳・神経機能)		2	2	4,272	780	2	5,439	750	
生理学(統合自律機能)		5	4	6,417	814	2	1,555	0	
医化学		5	3	4,906	930	5	2,221	390	
薬理学		8	7	17,680	2,670	8	12,486	1,410	
病理学		9	4	5,214	1,110	10	3,894	570	
感染医学(基礎感染医学)		4	2	4,308	840	3	5,405	870	
感染制御学		3	2	4,978	1,050	2	3,529	510	
感染医学(真核微生物学)		2	1	2,065	390	2	2,540	240	
免疫学		4	3	5,364	810	3	9,518	1,110	
環境医学		4	3	5,149	990	5	7,832	1,290	
公衆衛生学		4	4	8,688	780	3	5,975	330	
法医学		2	1	3,283	270	3	4,195	390	
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科)		15	10	20,620	2,880	13	18,758	2,910	
内科学(消化器内科)		12	8	14,005	2,610	16	14,892	2,400	
内科学(心臓・血管内科)		21	18	26,339	3,122	20	14,294	1,710	
内科学(内分泌代謝内科)		7	3	5,508	1,050	6	7,573	1,590	
内科学(腎臓内科)		13	3	3,350	750	10	5,873	1,350	
内科学(血液・腫瘍内科)		0	0	0	0	1	0	0	
神経精神医学		7	6	5,743	810	6	6,825	990	
小児科学		15	10	15,029	1,500	14	16,806	2,760	
外科学		11	6	15,670	2,130	10	13,417	1,590	
脳神経外科学		8	4	5,260	587	6	7,194	1,290	
整形外科学		1	1	2,140	330	3	2,461	150	
皮膚科学		4	4	6,791	810	2	1,777	300	
泌尿器科学		4	2	4,608	630	3	2,842	180	
眼科学		6	1	1,920	420	6	1,920	420	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学		6	5	6,990	660	5	8,155	1,560	
産婦人科学		1	0	0	0	1	0	0	
放射線医学		10	1	3,164	270	6	2,615	0	
麻酔学		4	3	4,443	660	4	5,344	480	
歯科口腔医療センター		4	3	8,327	1,770	7	3,001	210	
形成外科・顎顔面外科学		7	7	9,602	330	2	3,712	180	
救急医学		0	0	0	0	0	0	0	
集学治療センター		1	0	0	0	1	1,950	450	
メディカルセンター		0	0	0	0	0	0	0	
高度救命救急センター		2	2	1,827	240	3	279	0	
疾患モデル研究センター(動物実験センター)		3	2	3,539	720	2	2,114	420	
放射性同位元素施設		1	0	0	0	1	0	0	
放射線治療センター		0	0	0	0	0	0	0	
質量分析医学応用研究施設※2		1	1	2,480	570	1	1,720	420	
外科学(小児外科)		6	6	10,653	2,070	8	8,861	1,680	
医学部情報教育センター		0	0	0	0	0	0	0	
医学教育学		2	1	2,489	0	1	1,590	360	
電子顕微鏡室(先端イメージング研究センター)		1	1	950	150	1	514	120	
画像診断センター		0	0	0	0	0	0	0	
消化器病センター		0	0	0	0	0	0	0	
医療センター		6	3	4,899	420	1	2,363	360	
大学病院リハビリテーション部		2	1	393	0	0	0	0	
大学病院循環器病センター		3	2	4,724	540	2	1,496	150	
臨床検査部		2	0	200	0	2	197	0	
放射線部		2	0	0	0	3	0	0	
学長直属(医系)		0	0	0	0	0	0	0	
病理部		2	1	1,762	360	1	217	0	
糖尿病性血管合併症病態治療学		0	0	0	0	0	0	0	
医療連携センター※2		0	0	0	0	0	0	0	
地域医療連携		3	1	1,400	300	3	1,477	240	
総合周産期母子医療センター		1	1	2,022	0	1	0	0	
腎臓センター		4	0	0	0	2	0	0	
放射線腫瘍センター		1	0	0	0	1	0	0	
看護学科		28	22	38,823	4,290	23	32,150	3,600	
医療検査学科※2		1	3	4,750	1,050	8	5,612	990	
薬剤部		0	0	0	0	0	0	0	
臨床研修センター		0	0	0	0	0	0	0	
集中治療部		0	0	0	0	0	0	0	
病院経営室		1	0	0	0	1	0	0	
合 計		298	189	331,851	46,733	272	282,823	39,750	

注1 採択金額は、当該年度直接経費と間接経費の合計である。

注2 ※2箇所令和6年度件数について、申請時は別所属になっていたため、採択件数が申請件数よりも多くなっている。

厚生労働科学研究費補助金

(単位:千円)

区分	講座等	年 度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			採択件数	金 額	採択件数	金 額	採択件数	金 額
研究代表	その他部局		1	9,360	0	0	0	0
	小児科学		1	40,000	1	40,000	1	38,800
	合 計		2	49,360	1	40,000	1	38,800
研究分担	病理学		1	150	1	150	1	100
	感染制御学		1	450	1	450	2	1,600
	公衆衛生学		2	3,663	1	110	1	120
	質量分析医学応用研究施設		1	400	1	400	1	200
	内科学(呼吸器・神経・膠原病内科)		1	150	2	230	2	250
	内科学(消化器内科)		5	3,200	5	2,900	4	2,100
	内科学(腎臓内科)		2	1,100	2	850	2	850
	内科学(血液・腫瘍内科)		1	200	1	150	1	150
	小児科学		3	1,500	3	2,000	4	2,200
	外科学		1	200	0	0	0	0
	整形外科学		1	250	1	250	1	250
	医療検査学科		0	0	0	0	1	400
	高次脳疾患研究所		2	1,000	0	0	0	0
	先端癌治療研究センター		0	0	0	0	0	0
	外科学(小児外科)		1	300	1	300	1	250
	循環器病センター		1	200	1	200	1	200
その他部局		0	0	1	100	1	100	
合 計		23	12,763	21	8,090	23	8,770	

- 注) 1. 事務委任が行われたもののみ掲載
 2. 研究代表は交付金額
 3. 研究分担は配分額
 4. 年度途中での転出転入含む

厚生労働科学研究費補助金以外の厚労省管轄の補助金

(単位:千円)

区分	講座等	年 度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			採択件数	金 額	採択件数	金 額	採択件数	金 額
研究代表	整形外科学		1	11,997	1	9,997	1	9,997
	合 計		1	11,997	1	9,997	1	9,997
研究分担	環境医学		1	2,500	1	2,700	1	3,300
	合 計		1	2,500	1	2,700	1	3,300

日本医療研究開発機構委託研究開発費 (AMED)

(単位:千円)

区分	年度 講座等	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		採択件数	金額	採択件数	金額	採択件数	金額
研究代表	内科学(消化器内科)	0	0	0	0	0	0
	内科学(内分泌代謝内科)	0	0	0	0	0	0
	感染医学(基礎感染医学)	2	32,500	1	19,500	1	19,500
	分子生命科学研究所(遺伝情報)	1	12,025	1	16,900	1	13,000
	循環器病センター	0	0	1	7,500	1	13,636
	計	3	44,525	3	43,900	3	46,136
研究分担	学長直属	0	0	0	0	0	0
	薬理学	0	0	0	0	0	0
	病理学	5	9,360	3	4,160	4	7,351
	感染医学(基礎感染医学)	0	0	0	0	0	0
	感染制御学	0	0	0	0	0	0
	公衆衛生学	0	0	0	0	0	0
	質量分析医学応用研究施設	1	2,600	1	2,600	0	0
	内科学(呼吸器・神経・膠原病内科)	5	13,754	2	1,040	3	3,250
	内科学(消化器内科)	6	13,910	6	14,300	8	19,192
	内科学(心臓・血管内科)	3	1,560	2	1,352	2	260
	内科学(腎内内科)	1	1,690	1	1,690	1	1,430
	内科学(血液・腫瘍内科)	2	1,170	2	1,170	1	260
	小児科学	5	3,160	6	3,770	6	3,731
	皮膚科学	0	0	0	0	0	0
	外科学	3	2,080	2	1,170	1	520
	脳神経外科学	0	0	0	0	0	0
	整形外科	2	1,950	1	390	2	3,575
	産婦人科学	3	806	2	715	2	260
	先端癌治療研究センター(分子標的)	0	0	0	0	0	0
	先端癌治療研究センター(肝がん)	0	0	1	3,510	0	0
	バイオ統計センター	2	3,250	0	0	0	0
	高次脳疾患研究所	0	0	0	0	1	1,300
	外科学(小児外科)	0	0	0	0	0	0
	放射線腫瘍センター	0	0	0	0	0	0
	循環器病センター	0	0	0	0	0	0
	総合周産期母子医療センター	1	325	1	325	1	325
	眼科学	0	0	1	910	1	9,880
	医療検査学科	0	0	2	450	3	3,640
	分子生命科学研究所(個体システム)	0	0	0	0	1	6,175
	放射線部	0	0	0	0	1	650
	臨床検査部	0	0	0	0	1	2,808
	計	39	55,615	33	37,552	39	64,607

- 注) 1. 契約締結を伴う研究課題を掲載
 2. 研究代表は総委託費(間接経費を含む)
 3. 研究分担は契約額(間接経費を含む)
 4. 年度途中での転出転入含む

久留米大学石橋学術振興基金

基金 500,000千円（令和8年3月31日現在）

[収入の部]

(単位：千円)

科目	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
前年度繰越金	8,163	8,463	8,733
資金運用収入	9,500	9,500	9,500
合計	17,663	17,963	18,233

[支出の部]

(単位：千円)

科目	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
石橋助成費	9,200	9,230	9,760
次年度繰越金	8,463	8,733	8,473
合計	17,663	17,963	18,233

[学部等別交付状況]

(単位：千円)

年度 区分	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
文学部	0	0	330
法学部	0	0	0
経済学部	0	0	0
商学部	0	0	0
人間健康学部	0	0	2,000
医学部	8,900	8,900	5,830
その他 研究所等	100	330	1,600
心理学研究科	100	0	0
医学研究科	100	0	0
合計	9,200	9,230	9,760

石橋学術振興基金による研究課題
(石橋助成金)

(単位：千円)

研 究 課 題	研 究 代 表 者		交付を受けた 研 究 費
	氏 名	所属・職名	
非時間同期の RGB カメラによる簡易で高精度なモーションキャプチャの開発	大島 雄治	人間健康学部 スポーツ医科学科 准教授	2,000
中年期のカルシウム摂取がインスリン様成長因子の多面的効果を増強させる可能性 田主丸町および宇久島の地域住民データを使用した前向きコホート研究	野原 夢	内科学 (心臓・血管内科) 助教	1,800
新規サルコペニア治療薬の開発	椎村 祐樹	分子生命科学研究所 (遺伝情報) 講師	1,600
肝胃関連の視点から探る MASLD と GERD の関連性とそのメカニズム	福永 秀平	内科学 (消化器内科) 助教	1,400
脳波を活用した統合失調症早期診断の実用化研究	水木 慧	神経精神医学 助教	1,000
合 計		5 件	7,800

※所属・職名は令和8年3月31日現在

(研究支援プログラム)

(単位：千円)

研 究 課 題	研 究 代 表 者		交付を受けた 研 究 費
	氏 名	所属・職名	
急性骨髄性白血病における CD33D2 タンパク消失の機序の解明	大屋 周期	内科学 (血液・腫瘍内科) 助教	330
社会福祉法人における公益的な取組を継続する経営管理システムと展開モデルの開発	島崎 剛	文学部社会福祉学科 准教授	330
ミトコンドリア分裂障害に着目した代謝機能不全関連脂肪性肝炎の制御メカニズムの解析	王 麗香	医化学 助教	300
合 計		3 件	960

※所属・職名は令和8年3月31日現在

(ライフイベント・スタートアップ支援金)

(単位：千円)

研 究 課 題	研 究 代 表 者		交付を受けた 研 究 費
	氏 名	所属・職名	
「難治性消化管病変に対する Over-the-scope Clipシステムを用いた新規治療法の確立」	南 真平	内科学（消化器内科） 助教	250
「切除不能肝細胞癌に対するアテズリズマブ・ベバシズマブ併用療法における脾容積変化と免疫関連有害事象発症リスクの予測因子としての有用性の解明」	酒井 味和	内科学（消化器内科） 研究補助員 （臨床検査技師）	250
「肝内胆管癌免疫微小環境の治療前可視化：好中球細胞外トラップ測定による血清バイオマーカーシステムの確立」	城野 智毅	内科学（消化器内科） 助教	250
「薬理学的ミネラルコルチコイド受容体の制御によるループス腎炎CKDに対する抑制効果の検証」	小笠原 麻紀子	内科学（腎臓内科） 助教	250
小 計		4 件	1,000

※所属・職名は令和8年3月31日現在

久留米大学学術研究振興基金

基金 262,726千円（令和8年3月31日現在）

[収入の部]

(単位：千円)

科 目	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
前年度繰越金	8,705	8,935	9,250
資金運用収入	3,230	3,315	3,400
合 計	11,935	12,250	12,650

[支出の部]

(単位：千円)

科 目	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
学術助成費	3,000	3,000	3,000
次年度繰越金	8,935	9,250	9,650
合 計	11,935	12,250	12,650

[学部等別交付状況]

(単位：千円)

年 度 区 分	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
文 学 部	0	0	0
法 学 部	0	0	0
経 済 学 部	0	0	0
商 学 部	0	0	0
人間健康学部	0	0	0
医 学 部	3,000	3,000	3,000
そ の 他 研 究 所 等	0	0	0
合 計	3,000	3,000	3,000

学術研究振興基金による研究課題
(学術研究推進プロジェクト)

(単位：千円)

研 究 課 題	研 究 代 表 者		交付を受けた 研 究 費
	氏 名	所属・職名	
小胞型ヌクレオチドトランスポーター VNUT をターゲットとした乾癬新規治療 法の臨床開発	野村 政壽	内科学（内分泌代謝内科） 教授	3,000
合 計		1 件	3,000

※所属・職名は令和8年3月31日現在

研究助成金受入状況

(単位:千円)

講座等	年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
基 礎	自然科学教室 化学						
	解剖学 (肉眼・臨床解剖)	25	2,880	25	2,880	26	3,290
	解剖学 (顕微解剖・生体形成)	1	2,000	1	300		
	生理学 (脳・神経機能)			1	50		
	生理学 (統合自律機能)						
	医化学						
	薬理学	1	1,000				
	病理学	5	1,550	6	1,850	5	850
	感染医学 (基礎感染医学)	1	400	1	400	1	400
	感染医学 (真核微生物学)						
礎	免疫学						
	環境医学	2	700	2	700	2	700
	公衆衛生学						
	法医学・人類遺伝学					2	150
臨 床	感染制御学	1	300	1	150	1	100
	内科学 (呼吸器・神経・膠原病内科)	31	55,490	24	44,290	19	41,390
	内科学 (消化器内科)	35	40,384	36	43,284	37	52,840
	内科学 (心臓血管内科)	28	21,442	29	19,222	25	16,326
	内科学 (内分泌代謝内科)	9	7,110	10	7,410	11	11,095
	内科学 (腎臓内科)	18	10,830	28	14,830	33	18,160
	内科学 (血液・腫瘍内科)	7	6,750	3	600	3	400
	神経精神医学	34	19,600	28	16,550	28	15,450
	小児科学	37	34,610	43	29,381	37	27,530
	外科学	24	33,700	32	27,000	28	26,150
	脳神経外科学	15	12,820	16	10,970	14	11,055
	整形外科	14	9,110	13	8,201	11	6,857
	皮膚科学	25	14,170	26	10,260	18	5,290
	泌尿器科学	10	6,100	9	5,000	6	5,750
	眼科学	52	14,966	43	12,161	45	14,720
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	7	5,520	4	3,700	3	3,020
	産婦人科学	7	37,454	9	9,660	7	7,820
	放射線医学	17	8,446	16	8,096	16	8,416
	麻酔学	7	910	6	810	9	725
	歯科口腔医療センター (口腔外科学)						
	形成外科・顎顔面外科学	4	550	2	300	4	1,100
	外科学 (小児外科)	16	7,610	14	7,400	17	7,458
	救急医学	4	1,380	8	4,430	5	2,180
	高度救急救命センター						
	画像診断センター	1	100				
	集学治療センター						
	消化器病センター	2	1,300			1	100
	循環器病センター						
	緩和ケアセンター						
	臨床検査部	2	400	4	1,000	4	950
	臨床工学センター	4	140	2	60	6	510
	病理部	2	500				
	リハビリテーション部	2	659	4	2,246	4	2,558
	薬剤部						
	腫瘍センター						
	医療センター 消化器内科						
	医療センター 循環器内科	2	400				
	医療センター 小児科						
	医療センター 外科						
	医療センター リウマチ・膠原病センター						
	医療センター 整形外科・関節外科センター	1	1,000				
	医療センター 放射線科						
	医療センター 先進漢方治療センター	1	300	1	300	1	300
	医療センター 臨床検査室						
	医療センター リハビリテーションセンター						
医療センター 糖尿病センター							
医療センター 総合診療科							
研 究	看護学科	1	50	3	1,950	2	550
	高次脳疾患研究所					4	2,000
	疾患モデル研究センター	4	1,830	1	1,200		
	保健管理センター						
	分子生命科学研究所					3	1,250
	先端癌治療研究センター	2	853	1	300	5	415
	循環器病研究所						
	バイオ統計センター						
	比較文化研究所						
	医学教育研究センター			1	1,000	2	350
	先端イメージング研究センター						
	質量分析医学応用研究施設					1	2,000
	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座 (寄附講座) 運営費						
	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座 (寄附講座) 研究助成金						
	地域医療連携講座 (寄附講座) 運営費	1	70,000	1	70,000	1	70,000
	医療経営分室						
	文学部 (教育研究振興資金)	21	250	18	300	11	103
	人間健康学部 (教育研究振興資金)	7	130	6	170	6	60
	法学部 (教育研究振興資金)	20	185	7	57	19	248
	経済学部 (教育研究振興資金)	16	185	16	176	12	145
	商学部 (教育研究振興資金)	7	193	9	160	10	220
	看護学科 (教育研究振興資金)	11	2,265	13	1,160	12	1,100
	医療検査学科 (教育研究振興資金)			3	120	9	1,691
	臨床検査専門学校	1	50				
	医療検査学科			1	50	1	50
合 計		545	438,572	527	370,134	527	373,822

※件数は、入金件数を示す

その他の研究助成補助等

(単位：千円)

名 称 研 究 課 題	研 究 代 表 者		交付を受けた 研 究 費
	氏 名	所属・職名	
公益財団法人木村看護教育振興財団 看護研究助成（一般） ----- High Flow Nasal Cannula のフローによる 嚥下への影響の検証	杉島 寛	サージカル I C U 看護師長	794
日本網膜硝子体学会 ----- ブルシズマブ関連ブドウ膜炎の発症予測 A I 開発研究	吉田 茂生	眼科学 教授	1,000
公益財団法人山口内分泌疾患研究振興財団 医学・薬学に関する研究活動 ----- EGFP-AR ノックインマウスを用いた AR の動態解析	嶋 雄一	解剖学（顕微 解剖・生体形成） 教授	300
公益財団法人武田科学振興財団 2025 年度医学系研究助成（基礎） ----- SGLT2 阻害薬を用いた非侵襲的迷走神経刺激に よる制御性 B 細胞分化促進と免疫抑制効果の検証	田口 顕正	質量分析医学応用 研究施設 講師	2,000
公益財団法人森永奉仕会 研究奨励金 ----- 難治性消化器症状を伴う IgA 血管炎の病態解析と ジアフェニルスルホンの作用機序の解明	津村 直弥	小児科学 助教	600
一般財団法人曾田豊二記念財団 耳鼻咽喉科領域の若手研究者育成事業 ----- Artificial Intelligence を用いた喉頭運動の 標準化と喉頭運動障害の自動検出	首藤 航	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科学 助教	1,000
中外製薬株式会社 令和 7 年度研究助成 ----- 日本における肝がん新規発症の実態調査： National Database 研究	川口 巧	内科学 （消化器内科） 教授	300

(単位：千円)

名 称 研 究 課 題	研 究 代 表 者		交付を受けた 研 究 費
	氏 名	所属・職名	
公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団 2025年度（令和7年度）研究活動助成 ----- トラウマからの回復への歩み：アジアからの メッセージ 国際シンポジウム開催	大江 美佐里	神経精神医学 准教授	400
公益財団法人SGH財団 SGHがん看護研究助成 ----- 終末期がん患者が穏やかさを見出すための看護 援助モデルの開発～援助モデル原案の作成と 内容妥当性検証	松野 史	看護学科 助教	500
公益財団法人柿原科学技術研究財団 特定地域における研究開発事業 ----- 分裂酵母を用いた高価代謝物質の生産	石川 健	分子生命 科学研究所 (細胞工学) 講師	1,000
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー研究助成プログラム ----- 透析症例のAVRの予後	三根 大輝	外科学 (心臓血管外科) 助教	740
HOYA株式会社 メディカル事業部 医学・薬学に関する研究助成 ----- 結膜常在菌耐性遺伝子を標的とした包括的迅速 分子診断法の開発	吉田 茂生	眼科学 教授	1,700
一般社団法人日本創傷外科学会 第7回創傷に関する学術研究助成制度 ----- 1cmの壁を越えるためのPAT組織特性解析と新規 移植床開発：吻合不要の厚層軟部組織再建に 向けた基礎研究	田中 啓二郎	形成外科・ 顎顔面外科 助教	500

(単位：千円)

名 称 研 究 課 題	研 究 代 表 者		交付を受けた 研 究 費
	氏 名	所属・職名	
公益財団法人緒方記念科学振興財団事業助成金 大学スポーツ医学研究室をハブとした地域 密着型スポーツ医科学サポート体制の構築	副島 崇	人間健康学部 スポーツ 医科学科 教授	500

(2) 受託研究受入状況

(単位：千円)

年度 講座等名		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
基 礎	生物学						
	解剖学 (肉眼・臨床解剖)						
	解剖学 (顕微解剖・生体形成)						
	生理学 (脳・神経機能)						
	生理学 (統合自律機能)						
	医化学						
	薬理学			1	2,000	1	2,000
	病理学	540	143,926	519	142,727	511	170,742
	感染医学 (基礎感染医学)						
	免疫・免疫治療学						
	環境医学	2	43,001	2	35,005	2	44,500
	公衆衛生学			1	17,600		
	感染医学 (真核微生物学)						
法医学・人類遺伝学	55	27,214	47	22,629	49	14,831	
化学							
物理学							
臨 床	内科学 (呼吸器・神経・膠原病内科)	21	10,360	15	5,392	12	9,726
	内科学 (消化器内科)	10	1,230	6	626	4	1,126
	内科学 (心臓・血管内科)	8	2,037	2	127	2	639
	内科学 (内分泌代謝内科)	6	614	7	3,987	4	5,521
	内科学 (腎臓内科)	6	2,377	8	541	6	3,551
	内科学 (血液・腫瘍内科)	15	104	14	546	14	1,202
	神経精神医学	5	2,103	6	1,051	4	3,689
	小児科学	3	8,055	3	8,740	8	12,586
	外科学	7	1,165	6	1,900	8	7,620
	脳神経外科学	3	67			3	810
	整形外科学			2	400	4	3,130
	皮膚科学	7	4,023	10	3,360	7	3,570
	泌尿器科学	3	684	4	3,699	3	919
	眼科学						
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1	53	1	13		
	産婦人科学	12	22,273	13	28,715	7	22,053
	放射線医学						
	麻酔学						
	形成外科・顎顔面外科学						
	救急医学						
	歯科口腔医療センター						
	外科学 (小児外科)			3	1,250		
	循環器病センター			3	650	3	105
	リハビリテーションセンター					2	330
	がん集学治療センター	1	165				
	腫瘍センター						
	放射線腫瘍センター						
	感染制御学						
	臨床検査部	4	1,922	5	3,297	3	6,880
	病理部	1	1,200	1	250	1	500
	薬剤部						
	放射線部					1	200
	臨床検査室						
医療センター 内科							
医療センター 消化器科							

(単位：千円)

講座等名		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
臨 床	医療センター 循環器科			1	160		
	医療センター 小児科						
	医療センター 外科						
	医療センター リウマチ・膠原病センター						
	医療センター 整形外科	1	680				
	医療センター 放射線科						
	医療センター リハビリテーションセンター	1	300				
	医療センター 精神科						
	医療センター 内分泌代謝						
	医療センター がんワクチンセンター						
	医療センター 臨床検査室						
	医療センター フットケア・下肢血管病センター			1	330		
	医療センター 整形外科・関節外科センター			1	770		
	医療センター 総合診療科					1	4,868
研 究 所 等	質量分析医学応用研究施設	324	42,792	293	34,324	300	34,199
	疾患モデル研究センター	25	3,912	26	3,764	24	2,016
	高次脳疾患研究所	2	2,266	2	209		
	保健管理センター						
	先端イメージング研究センター						
	分子生命科学研究所	1	2,470	5	69,940	4	93,352
	放射性同位元素施設						
	先端癌治療研究センター (がんワクチン分子)						
	先端癌治療研究センター (肝癌)						
	先端癌治療研究センター (分子標的)						
	バイオ統計センター	8	10,582	2	1,364	6	13,687
	医療連携センター						
	データセンター						
	文学部	1	273	1	188	1	82
	人間健康学部	1	2,600	1	1,000	1	1,000
	法学部						
	経済学部	1	120	1	120	1	120
	商学部	1	364				
	看護学科						
	医療検査学科			2	1,500		
	循環器病研究所			1	310	1	198
	糖尿病性血管合併症病態治療学講座 (寄附講座)						
	病院情報部						
比較文化研究所							
ビジネス研究所							
経済社会研究所							
産学官連携推進室							
研究推進戦略センター	3	3,345	2	5,200	2	7,800	
医療経営研究センター	1	96			3	792	
臨床研究センター			27	13,695	19	4,488	
合 計	1,080	342,373	1,045	417,379	1,022	478,832	

※R 5年度 経済学部：他に共同研究 1件 700千円、医学科：他に共同研究 43件 53,299千円あり

※R 6年度 法学部：他に共同研究 1件 300千円、医学科：他に共同研究 25件 29,556千円あり

※R 7年度 医学科：他に共同研究 13件 34,043千円、看護学科・医療検査学科：他に共同研究 2件 3,720千円あり

(3) 治験受入状況

(単位：千円)

講座等		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
臨	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科）	265	141,863	342	143,549	404	179,356
	内科学（消化器内科）	105	23,676	124	38,834	145	23,268
	内科学（心臓・血管内科）	10	15,381	9	14,740	7	6,676
	内科学（内分泌代謝内科）	4	2,378	3	6,443	16	17,889
	内科学（腎臓内科）	24	1,554	33	9,044	43	6,967
	内科学（血液・腫瘍内科）	87	11,380	97	16,060	98	10,176
	神経精神医学	41	10,016	43	15,569	21	5,124
	小児科学	78	28,813	97	28,443	117	25,790
	外科学	6	741	23	16,049	29	4,643
	脳神経外科学	1	1,630	9	1,648	3	827
	整形外科	4	3,013	16	4,571	20	1,828
	皮膚科学	62	31,023	83	20,247	85	54,154
	泌尿器科学	5	155	9	842	22	10,115
	眼科学	56	6,240	36	5,076	59	17,808
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	7	3,774	9	3,894	15	7,186
	麻酔科	1	91				
	産婦人科学	112	57,570	119	79,487	199	76,580
	放射線医学	2	183	1	46	2	183
	形成外科・顎顔面外科学	1	91	1	183		
	歯科口腔医療センター						
	外科学（小児外科）						
	循環器病センター	22	19,484	32	28,355	40	30,826
	がん集学治療センター	11	538	10	371	11	1,704
	緩和ケアセンター						
	高度救命救急センター	1	35				
	放射線治療センター	7	355	5	521	2	286
病理部							
感染制御部			1	46	1	91	
腫瘍センター	1	495					
医療センター	20	11,007	5	472	2	273	
メディカル・イノベーションセンター	62	144,521	70	146,175	61	161,140	
研 究 所 等	高次脳疾患研究所	10	330	13	7,505	8	264
	循環器病研究所						
合 計		1,005	516,337	1,190	588,170	1,410	643,154

(4) 学会主催状況

(文学部)

(単位：人)

学 会 名	開催場所	開 催 日	担 当	会員数	参加者
第62回協同教育研究会	久留米大学御井キャンパス	令和8. 2. 14	文学部 教授 安永 悟	500	100

(人間健康学部)

(単位：人)

学 会 名	開催場所	開 催 日	担 当	会員数	参加者
第17回子どものからだと心・西日本研究会議	久留米大学天神サテライト・キャンパス	令和7. 5. 24	人間健康学部 教授 野田 耕		51
日本幼少児健康教育学会第44回大会 【秋季：久留米大会】	久留米大学御井キャンパス	令和7. 9. 6 ～ 令和7. 9. 7	人間健康学部 教授 野田 耕	257	152

(経済学部)

(単位：人)

学 会 名	開催場所	開 催 日	担 当	会員数	参加者
久留米大学経済学部 創立30周年記念 講演会 SDGsゴール1「貧困をなくそう」に向けた JICAの国際協力～ ひとりひとりの命・暮らし・尊厳と女性のエンパワメント～	久留米大学御井キャンパス	令和7. 11. 4	経済学部 教授 長島 正治		100

(商学部)

(単位：人)

学 会 名	開催場所	開 催 日	担 当	会員数	参加者
日本経営システム 学会第75回全国研究 発表大会	久留米大学 御井キャンパス	令和 7. 12. 6 ～ 令和 7. 12. 7	商学部 教授 奥井 秀樹	694	155

(比較文化研究所)

(単位：人)

学 会 名	開催場所	開 催 日	担 当	会員数	参加者
日中言語文化教育 国際学術 シンポジウム	西南学院 大学	令和 7. 8. 2 ～ 令和 7. 8. 3	比較文化研究所 所員 李 偉	28	25

(医学部医学科)

(単位：人)

学 会 名	開催場所	開 催 日	担 当	会員数	参加者
第109次日本法医学会 学術全国集会	久留米 シティプラザ	令和 7. 6. 11 ～ 令和 7. 6. 13	医学部医学科 教授 神田 芳郎	1,246	630
第125回日本消化器病 学会九州支部例会	久留米 シティプラザ	令和 7. 5. 16 ～ 令和 7. 5. 17	医学部医学科 教授 黒松 亮子	4,500	911
第119回日本消化器 内視鏡学会九州支部 例会	久留米 シティプラザ	令和 7. 5. 16 ～ 令和 7. 5. 17	医学部医学科 教授 竹田津 英稔	4,300	911
第25回日本内分泌 学会九州支部学術 集会	久留米 シティプラザ	令和 7. 8. 30	医学部医学科 教授 野村 政壽	300	198
第16回日本腎臓 リハビリテーション 学会学術集会	久留米 シティプラザ	令和 8. 3. 14 ～ 令和 8. 3. 15	医学部医学科 教授 深水 圭	2,000	1,363
日本皮膚科学会 第413回福岡地方会	ホテル ニュープラザ 久留米	令和 7. 7. 27	医学部医学科 教授 古賀 浩嗣	620	106
第66回日本肺癌学会 九州支部学術集会	久留米 萃香園ホテル	令和 8. 2. 13 ～ 令和 8. 2. 14	医学部医学科 教授 光岡 正浩	856	356

学 会 名	開 催 場 所	開 催 日	担 当	会 員 数	参 加 者
第49回日本呼吸器 内視鏡学会九州支部 総会	久留米 葎香園ホテル	令和 8. 2. 13 ～ 令和 8. 2. 14	医学部医学科 教授 光岡 正浩	861	356
第122回日本血管外科 学会九州地方会	久留米大学 筑水会館	令和 7. 8. 30	医学部医学科 教授 田山 栄基	530	108
第79回日本消化器 画像診断研究会	久留米 シティプラザ	令和 7. 9. 19 ～ 令和 7. 9. 20	医学部医学科 教授 久下 亨 准教授 内藤 嘉紀	500	280
第149回西日本整形・ 災害外科学会学術 集会	久留米 シティプラザ	令和 7. 6. 7 ～ 令和 7. 6. 8	医学部医学科 教授 平岡 弘二	2,243	395
第48回日本骨・関節 感染症学会	久留米 シティプラザ	令和 7. 7. 11 ～ 令和 7. 7. 12	医学部医学科 教授 佐藤 公昭	700	214
第32回西日本整形 外科スポーツ医学 研究会	マルチ創世 久留米	令和 7. 8. 23	医学部医学科 教授 平岡 弘二	300	163
第47回九州手外科 研究会	久留米 シティプラザ	令和 8. 1. 31	医学部医学科 講師 吉田 史郎	339	197
第76回日本気管 食道科学会総会 ならびに学術講演会	久留米 シティプラザ	令和 7. 11. 6 ～ 令和 7. 11. 7	医学部医学科 教授 梅野 博仁	2,500	600
第70回日本口腔外科 学会総会・学術大会	福岡国際 会議場・ 福岡サンパレス	令和 7. 11. 13 ～ 令和 7. 11. 16	医学部医学科 教授 楠川 仁悟	11,191	6,353
第54回九州小児外科 研究会	九州大学 病院	令和 7. 8. 23	医学部医学科 教授 加治 建	26施設	100
第55回日本小児 消化管機能研究会	久留米 シティプラザ	令和 8. 2. 7	医学部医学科 教授 加治 建	63施設	113

(先端癌治療研究センター)

(単位：人)

学 会 名	開 催 場 所	開 催 日	担 当	会 員 数	参 加 者
市民公開講座 「あなたのがんを 狙い撃ち」	石橋文化 センター 小ホール	令和 7. 10. 25	先端癌治療研究 センター 分子標的部門 准教授 主藤 朝也		60

(バイオ統計センター)

(単位：人)

学 会 名	開 催 場 所	開 催 日	担 当	会 員 数	参 加 者
久留米大学 バイオ統計センター 公開セミナー	久留米大学 バイオ統計 センター コンピュータ室 (Zoom併用)	令和 7. 4. 10 ～ 令和 8. 1. 15 (8回)	バイオ統計センター 所長 古川 恭治		1,261
第23回久留米大学 バイオ統計学 フォーラム	熊本済生会 病院外来 がん治療 センター コンパニオン ホール (Zoom併用)	令和 7. 9. 26	バイオ統計センター 所長 古川 恭治		394
第4回リアルワールド データ研究のための 統計学セミナー	久留米大学 バイオ統計 センター コンピュータ室 (Zoom併用)	令和 8. 3. 5	バイオ統計センター 所長 古川 恭治		717

(皮膚細胞生物学研究所)

(単位：人)

学 会 名	開 催 場 所	開 催 日	担 当	会 員 数	参 加 者
「ひふの日」記念 市民公開講座	久留米 シティプラザ	令和 7. 11. 9	皮膚細胞生物学 研究所 所長 溝口 充志		50

(高次脳疾患研究所)

(単位：人)

学 会 名	開 催 場 所	開 催 日	担 当	会 員 数	参 加 者
第20回 高次脳疾患研究所 市民公開講座	筑水会館 イベントホール	令和 8. 3. 20	高次脳疾患研究所 所長 小曾根 基裕		50

(分子生命科学研究所)

(単位：人)

学 会 名	開 催 場 所	開 催 日	担 当	会 員 数	参 加 者
第16回ペプチド・ ホルモン研究会	徳山駅前 賑わい交流 施設	令和 7. 9. 27	分子生命科学研究所 遺伝情報研究部門 講師 椎村 祐樹		20
文理融合の会 vol.0	カンファレンス サロン まゆ一せ (京都市)	令和 7. 11. 14	分子生命科学研究所 遺伝情報研究部門 講師 椎村 祐樹		10

(5) 学術雑誌発行状況

(心理学研究科)		
心理学研究科紀要		第24号
(心理教育相談センター)		
久留米大学心理教育相談センター紀要		第27号
(文学部)		
久留米大学文学部紀要		
(国際文化学科編)		第42号
(情報社会学科編)		第20号
(社会福祉学科編)		第24・25号
(心理学科編)		第24号
(法学部)		
久留米大学法学		第91号、第92号
(経済学部)		
経済社会研究		第65巻第3-4合併号 第66巻第1-4合併号 第67巻第1-2合併号
(商学部)		
商学研究		第31巻第1号 第31巻第2号
(医学部)		
久留米醫學會雑誌		88巻1~4号、1~4捕冊 5~8号、5~8捕冊 9~12号、9~12捕冊
クルメメディカルジャーナル		71巻1, 2号、3, 4号
(外国語教育研究所)		
久留米大学外国語教育研究所紀要		第33号
(比較文化研究所)		
比較文化研究		第62輯

(ビジネス研究所)

ビジネス研究

第10号

(経済社会研究所)

経済社会研究所紀要

第8輯

(情報教育センター)

久留米大学コンピュータジャーナル

Vol. 40, 2025

(先端癌治療研究センター)

久留米大学先端癌治療研究センター紀要 (RESEARCH REPORT 2024)

(循環器病研究所)

久留米大学循環器病研究所紀要 (Research Report 2024)

(高次脳疾患研究所)

久留米大学高次脳疾患研究所 研究報告書 (Research Report 2024)

(皮膚細胞生物学研究所)

皮膚細胞生物学研究所紀要 (ホームページ)

(バイオ統計センター)

バイオ統計センター紀要 (ホームページ)

3 診療に関する事項

(1) 大学病院

① 病院概要について

許可病床数 1, 018床 (一般965、精神53)

稼働病床数 977床 (一般924、精神53)

診療科 23科

呼吸器・神経・膠原病内科、消化器内科、心臓・血管内科、腎臓内科、内分泌代謝内科、血液・腫瘍内科、精神神経科、小児科、外科、整形外科、形成外科・顎顔面外科、脳神経外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線科、麻酔科、感染制御科、歯科口腔医療センター

メディカルセンター 5部

消化器病センター、循環器病センター、呼吸器病センター、内科総合外来、外科総合外来

診療部 14部

超音波診断センター、臨床検査部、中央手術部、高度救命救急センター、集中治療部、リハビリテーション部、腎臓センター、病理部、がん集学治療センター、緩和ケアセンター、総合周産期母子医療センター、外来治療センター、総合健診センター、放射線部

その他 18部

薬剤部、看護部、中央滅菌材料部、栄養部、臨床工学センター、医療安全管理部、内視鏡手術センター、医療情報センター、栄養治療部、腫瘍センター、医療連携センター、臨床研修センター、感染制御部、臨床研究センター、高難度新規医療技術管理部、未承認新規医薬品・医療機器管理部、保険診療管理部、事務部

標榜診療科 34科

内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、心臓・血管内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、腎臓内科、血液・腫瘍内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、消化器外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、小児歯科、矯正歯科、麻酔科、救急科、病理診断科、美容外科

② 令和7年度患者数について

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
外 来	38,476	37,289	39,109	40,880	36,779	39,078	41,250
	1,832	1,864	1,862	1,858	1,936	1,861	1,875
入 院	22,764	22,906	23,960	24,608	23,094	23,786	24,634
	759	739	799	794	745	793	795
	11月	12月	1月	2月	3月	4月～ 3月	
外 来	35,015	38,226	37,080	35,461	40,668	459,311	
	1,843	1,911	1,854	1,866	1,937	1,875	
入 院	23,726	23,662	22,575	21,596	23,236	280,547	
	791	763	728	771	750	769	

上段：月別患者数

下段：1日平均患者数

③ 令和7年度ドクターヘリ運航状況について

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
出動数	35	25	19	32	22	28	32
	11月	12月	1月	2月	3月	4月～ 3月	
出動数	24	27	28	30	34	336	

※令和7年度運航実績基本データより、現場・転院で集計

(2) 医療センター

① 病院概要について

許可病床数 250床

稼働病床数 234床

- ・一般病床数 144床
(急性期一般入院料)
- ・回復期リハビリテーション病床数 50床
(回復期リハビリテーション病棟入院料)
- ・地域包括ケア病床数 40床
(地域包括ケア病棟入院料)

診療科 16科

総合診療科、プライマリ・地域医療ヘルスケアセンター、消化器内科、循環器内科、糖尿病センター、精神科・もの忘れ・睡眠センター、小児科、整形外科・関節外科センター、皮膚科、リハビリテーション科、眼科、放射線科(画像診断)、麻酔科、先進漢方治療センター、泌尿器科、フットケア・下肢血管病センター、(病理診断科)

診療部 1部

リハビリテーション部

診療室 3室

手術室、画像センター、臨床検査室

その他 8室

薬剤室、看護部、臨床工学室、医療連携センター、栄養室、臨床研修室、医療安全・感染対策室、事務部

標榜診療科 27科

内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科・糖尿病内科、リウマチ科、精神科、小児科、心臓血管外科、外科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、眼科、泌尿器科、婦人科、放射線科、麻酔科、呼吸器内科、漢方内科、漢方精神科、漢方小児科、漢方産婦人科、漢方皮膚科、漢方泌尿器科、漢方循環器内科、病理診断科、形成外科

② 令和7年度患者数について

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
外 来	6,601	6,171	6,250	6,586	5,786	6,288	6,423
	300	309	298	299	305	299	292
入 院	5,136	4,933	4,450	4,746	4,761	4,271	4,483
	171	159	148	153	154	142	145
	11月	12月	1月	2月	3月	4月～ 3月	
外 来	5,432	6,102	5,763	5,274	5,990	72,666	
	286	305	288	293	285	297	
入 院	3,791	3,897	3,965	3,725	3,464	51,622	
	126	126	128	133	112	141	

上段：月別患者数（入院患者数は退院を含む）

下段：1日平均患者数

4 補助金に関する事項

(1) 補助金・寄付金関係

補助金

(単位:千円)

補助金名称	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年度増減
私立大学経常費補助金(一般補助)	私学事業団	1,969,861	1,783,029	1,876,948	93,919
私立大学経常費補助金(特別補助)	"	214,139	216,191	199,777	△ 16,414
小計		2,184,000	1,999,220	2,076,725	77,505
学術研究振興資金	私学事業団			400	400
私立学校施設整備補助金(研究装置)	文部科学省	35,031		32,048	32,048
私立学校施設整備補助金(防災機能強化)	"	70,647			0
授業料等減免交付金(大学分)	"	443,193	469,743	1,259,889	790,146
大学改革推進等補助金(高度医療人材養成事業)	"	212,000		160,000	160,000
臨床研修費補助金	厚生労働省	56,621	52,932	51,620	△ 1,312
保健衛生施設等設備整備費補助金(エイズ治療拠点病院設備整備)	"	7,758	15,875	4,973	△ 10,902
保健衛生施設等設備整備費補助金(末梢血幹細胞採取施設)	"		15,400		△ 15,400
保健衛生施設等設備整備費補助金(組織バンク)	"		1,578		△ 1,578
疾病予防対策事業費等補助金(がん診療連携拠点)	"	3,120	3,120	3,103	△ 17
疾病予防対策事業費等補助金(がんゲノム医療中核拠点)	"	40,397	41,324	44,637	3,313
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業補助金(医師派遣推進事業)	"	6,300			0
特定求職者雇用開発助成金	"	2,760	3,960	2,820	△ 1,140
キャリアアップ助成金 正社員化コース	"	855	428	4,745	4,317
医療施設運営費等補助金(看護師の特定行為に係る研修機関運営事業)	"	13,802	15,215	6,718	△ 8,497
医療施設運営費等補助金(特定行為研修の組織定着化支援事業)	"		2,897		△ 2,897
医療施設等災害復旧費国庫補助金	"			7,709	7,709
医療扶助のオンライン資格確認の導入に必要なレセコン改修等に係る助成金	"			283	283
マイナ保険証利用促進のための利用勧奨の取組に係る助成金(医療機関等におけるマイナ保険証利用促進のための支援)	"		600		△ 600
マイナ保険証利用促進のための利用勧奨の取組に係る助成金(医療機関・薬局における顔認証付きカードリーダー増設の支援)	"		625		△ 625
省エネルギー投資促進支援事業費補助金	経済産業省	8,401	3,911	1,769	△ 2,142
中小企業経営支援等対策費補助金(戦略的基盤技術高度化支援事業)	"	3,126			0
中小企業経営支援等対策費補助金(成長型中小企業等研究開発支援事業)	"	1,313	1,248	1,323	75
企業主導型保育事業(運営費)	内閣府	75,608	76,399	80,672	4,273
新型コロナウイルス感染症対策・体制支援関連補助金(国庫補助金)		4,063			0
救命救急センター運営費補助金	福岡県	5,000	5,000	5,000	0
救命救急センター設備整備事業	"	5,180	7,320		△ 7,320
救急医療施設等設備整備費補助金	"	97			0
医療機関等物価高騰対策支援金	"	131,645	53,446	60,452	7,006
私立学校等物価高騰対策支援金	"	3,176	906	1,061	155
高・中校経常費補助金	"	393,058	400,712	397,563	△ 3,149
私立専門学校授業料等減免補助金	"	3,694	2,683	2,733	50
私立高等学校授業料軽減補助金	"	1,782	1,663	2,000	337
私立小中学校授業料軽減補助金	"		672	336	△ 336
臨検校設備費補助金	"	410			0
私立学校教育活動体制整備費補助金	"	1,090			0
産科医等確保支援事業補助金	"	436	267	284	17
外科医確保のための遠隔手術指導支援事業費補助金	"		2,475		△ 2,475
総合周産期母子医療センター運営費補助金	"	13,226	15,859	16,520	661
小児医療施設設備整備事業補助金	"		9,163		△ 9,163
小児等地域療育支援病院整備事業費補助金	"		5,418		△ 5,418
小児等地域療育支援病院運営事業費補助金	"		8,994	11,992	2,998
ドクターヘリ導入促進事業	"	287,323	299,426	348,947	49,521
在宅療養一時受入事業費補助金	"	3,901	8,503	8,503	0
新人看護職員研修事業補助金	"	2,355	2,157	2,157	0
新任期看護職員研修事業補助金	"	779	779	708	△ 71
新生児医療担当医確保支援事業補助金	"	680	623	623	0
看護補助者処遇改善事業補助金	"		1,874		△ 1,874
食事療養提供体制確保事業支援金給付	"		4,058		△ 4,058
地域医療勤務環境改善支援事業費補助金(地域医療勤務環境改善体制整備特別事業)	"		196,800	189,736	△ 7,064
地域医療勤務環境改善支援事業費補助金(勤務環境改善医師派遣等推進事業)	"		196,168	62,639	△ 133,529
がん診療施設設備整備事業補助金	"			10,800	10,800
医療従事者勤務環境改善促進費補助金(生産性向上・職場環境整備補助金)	"			40,720	40,720
医療従事者勤務環境改善促進費補助金	"			279	279
特定行為研修推進事業補助金	"	700	700	1,600	900
救急医療施設等施設整備費補助金(地域災害拠点病院設備整備事業)	"			2,466	2,466
病院内保育所運営費補助金	"	1,486	2,055	3,084	1,029
同和教育事業補助金	"	1		2	2
病児保育事業補助金	久留米市	12,541	13,945	13,830	△ 115
学術研究機能拡充促進事業補助金	"		33,720		△ 33,720
久留米広域圏事務組合助成金	"	2,000	2,000	2,000	0
久留米市保育所等物価高騰対策支援補助金	"	96		160	160
新型コロナウイルス感染症対策・体制支援関連補助金(地方補助金)	"	440,376			0
その他		5,486	5,744	7,320	1,576
小計		2,301,513	1,988,385	2,856,224	867,839
合計		4,485,513	3,987,605	4,932,949	945,344

寄付金

(単位:千円)

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
医学科教育振興資金	32	19,540	32	18,240	35	21,400
研究助成金 (医文人法経商看)	544	368,573	526	300,134	526	303,823
新時代を拓く久留米大学募金	136	29,191	140	33,976	150	21,147
久留米大学 創立100周年記念事業募金					640	114,104
附設高校校教育基金	198	5,702	167	5,668	161	5,053
附設記念事業募金 (高校75周年・中学55周年)	484	34,264	460	36,459	380	53,942
文学部後援会	1	3,250	1	3,250	1	3,250
人間健康学部後援会	1	1,300	1	1,300	1	1,300
法学部後援会	1	3,120	1	3,120	1	3,120
経済学部後援会	1	2,730	1	2,730	1	2,730
商学部後援会	1	2,600	1	2,600	1	2,600
医学部保護者会	2	6,005	2	6,050	2	5,997
医学部卒業生保護者	54	5,060	44	3,010	44	3,800
医療研究開発費	258	273,883	248	263,615	228	231,039
寄附講座	2	70,100	1	70,000	1	70,000
福岡県医師会	1	300	1	300	1	300
久大エンタープライズ	2	220,000	1	5,000	1	110,000
愛恵会	1	5,000	4	6,300	4	6,300
教職員組合	1	1,800	1	1,800	1	1,800
一般・法人等	63	770,381	113	32,899	120	228,958
古本募金	32	22	12	256	12	207
その他	1	1,200	1	1,200	1	1,200
合計	1,816	1,824,023	1,758	797,907	2,312	1,192,074

- 令和7年度より「久留米大学創立100周年記念事業募金」を創設。
- 医療研究開発費(受配者指定寄付金)の件数は、日本私立学校振興・共済事業団への配付申請の数を示す。
- 寄附講座については、運営費のみを計上。運営費以外については、研究助成金・医療研究開発費に計上。
- 単位未満切捨のため、合計が一致しない場合がある。

受配者指定寄付金受入状況

(単位:千円)

講座等	年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
基礎	化学							
	解剖学 (内眼・臨床解剖)							
	解剖学 (顕微解剖・生体形成)							
	生理学 (脳・神経機能)							
	生理学 (統合自律機能)							
	医化学			1	500	1	500	
	薬理学							
	病理学	7	2,500	8	2,550	4	1,310	
	感染医学 (基礎感染医学)							
	免疫学							
基礎	環境医学	1	500	1	500	1	500	
	公衆衛生学							
	法医学・人類遺伝学							
臨床	感染制御学	1	100					
	内科学 (呼吸器・神経・膠原病内科)	24	17,350	21	16,600	20	16,740	
	内科学 (消化器内科)	45	27,700	45	33,670	32	22,220	
	内科学 (心臓血管内科)	26	29,580	23	24,680	22	21,780	
	内科学 (内分泌代謝内科)	22	11,160	20	11,210	15	8,500	
	内科学 (腎臓内科)	35	21,760	33	15,560	33	14,040	
	内科学 (血液腫瘍内科)	6	1,960	4	1,060	3	660	
	神経精神医学	32	20,400	29	15,300	24	17,270	
	小児科学	15	15,620	19	21,220	15	14,015	
	外科学	57	37,640	57	42,030	50	36,740	
	脳神経外科学	15	13,343	15	13,325	17	15,550	
	整形外科	38	34,370	37	28,630	29	25,840	
	皮膚科学	15	3,040	17	3,540	16	3,240	
	泌尿器科学	7	2,820	6	2,520	6	2,760	
	眼科学	12	7,150	12	6,750	10	6,400	
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	4	880	3	780	3	480	
	産婦人科学	3	3,200	3	2,900	4	1,084	
	放射線医学	14	5,610	12	3,810	10	5,360	
	麻酔学	4	1,860	5	2,860	4	1,860	
	歯科口腔医療センター (口腔外科学)	1	400	1	400			
	形成外科・顎顔面外科学	12	6,160	10	4,440	12	6,110	
	救急医学	7	2,580	5	2,380	6	3,380	
	高度救急救命センター							
	外科学 (小児外科)	4	2,200	4	2,200	2	700	
	画像診断センター							
	集学治療センター	1	500					
	消化器病センター					1	300	
	循環器病センター							
	緩和ケアセンター							
	臨床検査部	1	200	1	200	1	200	
	臨床工学センター	1	100	1	100			
	病理部			1	100			
	リハビリテーション部							
	薬剤部							
	腫瘍センター							
	医療センター 消化器内科							
	医療センター 循環器内科	1	500					
	医療センター 小児科							
	医療センター 外科							
	医療センター リウマチ・膠原病センター							
	医療センター 整形外科	1	100	1	100			
	医療センター 放射線科							
	医療センター 皮膚科							
	医療センター 臨床検査室							
	医療センター 糖尿病センター							
医療センター 総合診療科								
医療センター 薬剤室								
研究所等	看護学科							
	高次脳疾患研究所	2	200	3	300	2	400	
	分子生命科学研究所			1	1,000	1	3,000	
	先端癌治療研究センター	2	2,400	2	2,400	1	100	
	循環器病研究所							
	バイオ統計センター							
	皮膚細胞生物学研究所							
	疾患モデル研究センター							
	比較文化研究所							
	糖尿病性血管合併病態・治療学講座 (寄附講座) 運営費	1	100					
	糖尿病性血管合併病態・治療学講座 (寄附講座) 医療研究開発費							
	地域医療連携講座 (寄附講座) 医療研究開発費							
	現代メディア学講座 (寄附講座) 運営費							
九州がんフォーラム								
文学部国際文化学科								
心理学研究科								
法人本部	38	240,720	41	30,191	36	136,580		
100周年					36	9,670		
附設高校	2	1,000	1	1,000	3	2,100		
合計	457	515,703	443	294,806	420	379,389		

※件数は、入金件数を示す

5 知的財産に関する事項

(1) 出願状況

令和5年度

(件数)

	医学部	医系附置 研 究 所	病院	文系学部等	事務局	計
国内出願	6	0	0	0	0	6
外国出願 (PCT 出願)	4	0	0	0	0	4

令和6年度

(件数)

	医学部	医系附置 研 究 所	病院	文系学部等	事務局	計
国内出願	※7	0	0	0	0	7
外国出願 (PCT 出願)	1	0	0	0	0	1

※国内出願2件分記載漏れのため、5→7件に修正。

令和7年度

(件数)

	医学部	医系附置 研 究 所	病院	文系学部等	事務局	計
国内出願	4	1	0	1	0	6
外国出願 (PCT 出願)	3	0	1	0	0	4

(2) 本学所有特許権

【気道確保装置及びそれに使用する無段階調節装置】

発明者：楠川 仁悟 特許取得1件（日）

【ドレープ付き開瞼器】

発明者：浦野 哲 特許取得7件（日、中、香、米、英、独、仏）

【特発性間質性肺炎の検出方法】

発明者：星野 友昭 特許取得6件（日、米：2件、独、英、仏）

【ドレープ付き開瞼器（吸引機能付き）】

発明者：浦野 哲 特許取得1件（日）

【非特発性間質性肺炎の治療薬のスクリーニング方法】

発明者：星野 友昭 特許取得1件（日）

【気道確保装置及びそれに使用する再使用可能な無段階調節装置】

発明者：楠川 仁悟 特許取得1件（日）

【単分子 DNA から形成される環状 DNA の作成方法】

発明者：水野 晋一 特許取得3件（日、独、仏）

【吸引穿刺方法と吸引穿刺装置】

発明者：岡部 義信 特許取得5件（日：2件、中、米、独）

【眼洗浄器具および眼洗浄装置】

発明者：吉村 浩一 特許取得 1 件 (日)

【陰圧治療装置】

発明者：清川 兼輔 特許取得 1 件 (日)

【AGE 特異的アプタマーの腎疾患治療用途】

発明者：深水 圭 特許取得 1 件 (日)

【陰圧治療用装填材】

発明者：清川 兼輔 特許取得 1 件 (日)

【陰圧創傷治療装置】

発明者：清川 兼輔 特許取得 1 件 (日)

【手袋】

発明者：橋本 隆 特許取得 1 件 (日)

【電子顕微鏡用包埋樹脂組成物及び当該組成物を用いた電子顕微鏡による試料の観察方法】

発明者：太田 啓介 特許取得 1 件 (日)

【DNA 分子の環状化において単分子による環状化 DNA のみを選別する方法】

発明者：水野 晋一 特許取得 1 件 (日)

【鎖骨骨折治療用髄内固定金具】

発明者：中村 英智 特許取得 1 件 (日)

【緑色硫黄細菌変異体およびバクテリオクロロフィル】

発明者：原田 二郎 特許取得 1 件 (日)

【小麦ふすま、大麦糠、または米糠に由来するペプチドを含む脂肪性肝疾患を処置するための組成物】

発明者：上野 隆登 特許取得 1 件 (日)

【骨接合具(改良)】

発明者：中村 英智 特許取得 1 件 (日)

【緑色硫黄細菌変異株及びそれを用いたバクテリオクロロフィル c 同族体の製造方法】

発明者：原田 二郎 特許取得 1 件 (日)

【MRI 指標の推定方法および装置】

発明者：岩田 欧介 特許取得 3 件 (日、独、中)

【ミトコンドリア病診断用バイオマーカーとしての GDF15】

発明者：古賀 靖敏 特許取得 1 件 (日)

【非観血的動静脈圧測定装置及びその測定装置を用いた動静脈圧測定方法】

発明者：友枝 博 特許取得 4 件 (日、伊、米、中)

【先端加工された光照射用光ファイバー及びこれを用いた体内照灯装置】

発明者：木下 正啓 特許取得 1 件 (日)

【RAGE アプタマーおよびその用途】

発明者：山岸 昌一 特許取得 1 件 (日)

【腎性貧血のバイオマーカーとしての赤血球 ADMA の使用】

発明者：横路 三有紀 特許取得 1 件 (日)

【血管吻合器】

発明者：渡部 功一 特許取得 1 件 (日)

【補助心臓装置】

発明者：福本 義弘 特許取得 1 件（日）

【骨髄類似構造を利用した細胞培養法、及び骨損傷部位の治療のためのポリイミド多孔質膜】

発明者：太田 啓介 特許取得 3 件（日、米：2 件）

【グレリンを有効成分として含有するレット症候群（RTT）の予防・治療剤】

発明者：松石 豊次郎 特許取得 2 件（日、米）

【新規な NADPH 酸化酵素活性化剤及びその製造方法、並びに NADPH 酸化酵素の活性化方法】

発明者：森部 弘樹 特許取得 1 件（日）

【心拍同期型の血液循環システム、制御方法及び心拍同期型の電気刺激装置】

発明者：佐々木 健一郎 特許取得 3 件（日、韓、中）

【気道確保装置用の調整器具および気道確保装置】

発明者：楠川 仁悟 特許取得 1 件（日）

【モノクローナル抗体、検出方法、及び検出装置】

発明者：桑野 剛一 特許取得 1 件（日）

【コアジュバンド組成物およびこれを含むワクチン組成物】

発明者：山田 亮 特許取得 1 件（日）

【NO 及び NO-pathway 刺激によるエリスロポエチン受容体を標的とした腎性貧血に対する新規治療薬】

発明者：中山 陽介 特許取得 1 件（日）

【ループス腎炎を処置または予防するための医薬組成物およびループス腎炎のバイオマーカー】

発明者：田口 顕正 特許取得 1 件（日）

【マウスピース】

発明者：楠川 仁悟 特許取得 2 件（日：2 件）

【RAGE アプタマーを含む癌を治療するための医薬組成物】

発明者：山岸 昌一 特許取得 1 件（日）

【血腫除去装置】

発明者：折戸 公彦 特許取得 1 件（日）

【がん免疫療法の予後予測のためのバイオマーカー】

発明者：松尾 規和 特許取得 1 件（日）

【体内カリウム値の調整剤】

発明者：中山 陽介 特許取得 1 件（日）

【CREBBP 遺伝子に変異を導入された遺伝子改変動物】

発明者：佐藤 貴弘 特許取得 2 件（日、米）

【移動式ベッド】

発明者：友枝 博 特許取得 1 件（日）

【ステント】

発明者：福本 義弘 特許取得 1 件（日）

【コントローラ、コントローラの製造方法、疑似体験システム、および疑似体験方法】

発明者：片山 礼司 特許取得 1 件（日）

【IL-1 β 阻害薬】

発明者：沈 龍佑 特許取得1件（日）

【腸管における潰瘍または瘻孔の治療または予防のための医薬組成物】

発明者：山崎 博 特許取得1件（日）

【高アンモニア血症を治療するための医薬組成物】

発明者：芳野 信 特許取得1件（日）

【搬送車】

発明者：友枝 博 特許取得1件（日）

【自己免疫性水疱症の診断装置】

発明者：石井 文人 特許取得1件（日）

【炎症性腸疾患に対する治療用抗体】

発明者：溝口 充志 特許取得1件（日）

【炎症性疾患治療剤】

発明者：菊池 清志 特許取得1件（日）

【膵臓がんのバイオマーカーとしてのマイクロRNAの使用】

発明者：阪上 尊彦 特許取得1件（日）

【ウイルス感染の判定方法】

発明者：星野 友昭 特許取得1件（日）

【サルコペニア診断装置及びプログラム】

発明者：佐々木 健一郎 特許取得1件（日）

【炎症性腸疾患抑制剤】

発明者：森山 芳則 特許取得1件（日）

【アダプタ（300:医療用チューブの先端位置検出システム）】

発明者：木下 正啓 特許取得1件（日）

【コネクタ（300:医療用チューブの先端位置検出システム）】

発明者：木下 正啓 特許取得1件（日）

【医療用カテーテル（300:医療用チューブの先端位置検出システム）】

発明者：木下 正啓 特許取得1件（日）

【口腔白板症の癌化を予測する方法および口腔扁平上皮癌の浸潤の有無を判定する方法】

発明者：溝口 恵美子 特許取得1件（日）

【実験教材、配列生成方法及び実験教材の使用方法】

発明者：大久保 博 特許取得1件（日）

【搬送補助装置および医療用ベッド】

発明者：友枝 博 特許取得1件（日）

【呼吸波形情報を取得するためのシステムおよび方法】

発明者：上田 泰己 特許取得1件（日）

【うつ病治療のための併用剤】

発明者：西 昭徳 特許取得1件（日）

【脳波スペクトル分析装置のためのセンサ接続装置】

発明者：原田 秀樹 特許取得2件（日、米国）

